

安曇野市の財政状況

令和元年10月1日から令和2年3月31日までの期間における安曇野市の財政状況

令和2年6月 財政部 財政課

1 はじめに

令和元年度下半期の補正予算の概要と予算執行状況、公営企業の業務など安曇野市の財政状況について公表します。

2 令和元年度補正予算の状況

【上半期の補正予算】

(単位：千円)

会計名	当初予算	補正予算 (6月議会提案)	補正予算 (9月議会提案)
一般会計	41,150,000	139,000	875,000
国民健康保険特別会計	10,507,526		
後期高齢者医療特別会計	1,167,317		
介護保険特別会計	9,354,568	6,736	207,599
上川手山林財産区特別会計	1,825		543
北の沢山林財産区特別会計	2,656		170
有明山林財産区特別会計	3,626		262
富士尾沢山林財産区特別会計	1,125		121
穂高山林財産区特別会計	1,239		69
産業団地造成事業特別会計	32,412		4,330
有明荘特別会計	12,303		
合計	62,234,597	145,736	1,088,094

法適用企業会計

(単位：千円)

会計名		当初予算	補正予算 (6月議会提案)	補正予算 (9月議会提案)
水道事業	収益的収入	2,335,142		
	収益的支出	1,887,465		
	資本的収入	386,894		126,300
	資本的支出	1,843,520		191,700
下水道事業	収益的収入	4,304,266		
	収益的支出	3,768,696		
	資本的収入	797,227		
	資本的支出	2,480,707		

【下半期の補正予算】

(単位：千円)

会計名	補正予算 (12月議会提案)	補正予算 (12月追加提案)	補正予算 (3月議会提案)	補正予算 (5月議会臨時会報告)	最終予算額
一般会計	52,000	58,000	1,042,000	△ 997,000	42,319,000
国民健康保険特別会計	90,223		△ 184,027	△ 226,293	10,187,429
後期高齢者医療特別会計			48,886	13,570	1,229,773
介護保険特別会計	1,514		17,818	△ 250,769	9,337,466
上川手山林財産区特別会計			1	459	2,828
北の沢山林財産区特別会計					2,826
有明山林財産区特別会計			3		3,891
富士尾沢山林財産区特別会計			1		1,247
穂高山林財産区特別会計			1		1,309
産業団地造成事業特別会計	△ 13,212		△ 3,900	△ 222	19,408
観光宿泊施設特別会計			△ 2,984	△ 1,288	8,031
合計	130,525	58,000	917,799	△ 1,461,543	63,113,208

法適用企業会計

(単位：千円)

会計名	補正予算 (12月議会提案)	補正予算 (12月追加提案)	補正予算 (3月議会提案)	補正予算 (5月議会臨時会報告)	最終予算額
水道事業	収益的収入		△ 15,291		2,319,851
	収益的支出		△ 20,713		1,866,752
	資本的収入		△ 48,000		465,194
	資本的支出		△ 17,072		2,018,148
下水道事業	収益的収入		50,610		4,354,876
	収益的支出		△ 14,009		3,754,687
	資本的収入		△ 83,561		713,666
	資本的支出		△ 89,142		2,391,565

3 令和元年度下半期の補正予算の状況

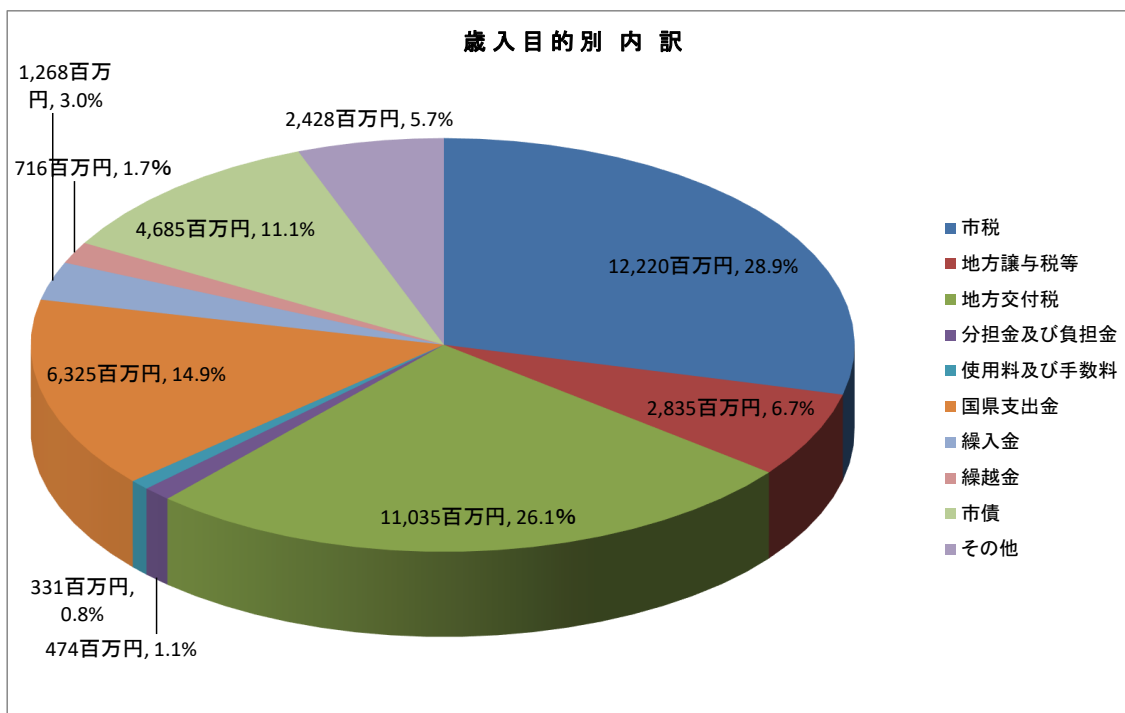
令和元年度下半期各会計別の補正予算の状況は上記のとおりです。

一般会計においては、下半期に4回の補正予算を編成しました。

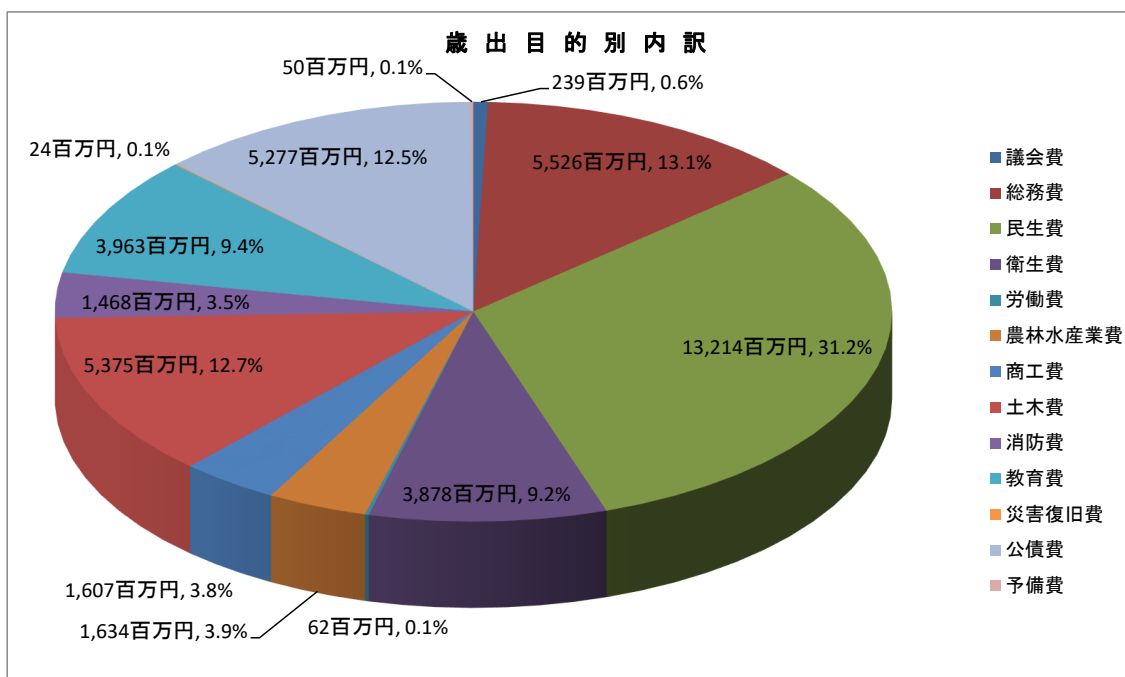
12月議会へ提案した「補正予算第3号」は、市税、国県支出金の増額や基金繰入金、市債の減額、ふるさと寄附返礼品の増額、福祉医療費給付事業の増額など5,200万円の増額補正、及びたつみ認定こども園建設工事等や指定管理期間が複数年にわたるもの、穂高幼稚園給食調理業務など債務負担行為の設定を行いました。12月議会へ追加提案した「補正予算第4号」は、台風19号に伴い被災した道路移設などの復旧経費、明科南認定こども園建設事業の請負業者変更等に伴い発生した工事費、8月の人事院勧告に基づく法改正に伴い、特別職及び一般職の職員の給与等に関する条例の一部改正されることに伴う人件費など5,800万円の増額補正を行いました。令和2年3月議会へ提案した「補正予算第5号」は、市税、地方特例交付金、国庫支出金、財産収入、寄附金、繰入金の増額、分担金及び負担金、県支出金、市債等の減額、ふるさと寄附金、公共施設整備基金への積立や障がい者支援事業、中学校冷房設備等整備事業の増額、国保会計への繰入金などの減額から10億4,200万円の増額補正、及び年度内での事業完了が困難となった事業について繰越明許費の設定を行いました。令和2年5月臨時会へ報告した補正予算については、決算を踏まえた歳入の整理、及び歳出不執行額の整理を中心に3月27日付で専決処分を行い、5月臨時会へ「専決第1号」として報告したものです。

一般会計の補正予算の概要は、次のとおりです。

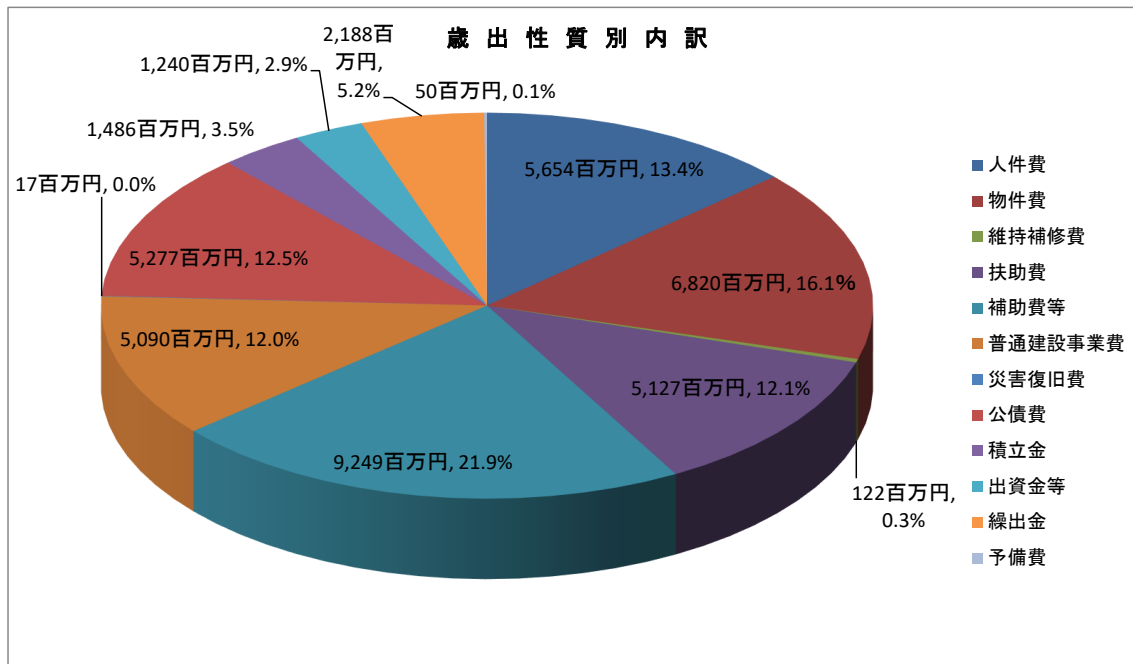
最終的な予算額については、423億1,900万円となりました。歳入歳出の目的別、性質別の内訳は次のグラフのとおりです。



※ 構成比については、単位未満四捨五入により100%になりません。



※ 百万円未満四捨五入により、合計額は一致しません。



※ 百万円未満四捨五入により、合計額は一致しません。

令和元年度一般会計補正予算（補正第1号）の概要等

1 令和元年度一般会計補正予算（補正第1号）の編成方針等

○ 基本事項

『当初予算の執行開始後間もない』こと、及び『増額補正に対応する財源確保が困難である』ことから、原則として次の事項に該当するものを補正する。

- ① 市民の安全確保や利便性確保のため、緊急を要するものの補正
- ② 国庫・県支出金の交付決定が出されたもののうち、早期着手が必要な案件に係る部分の補正
- ③ 当初予算編成時に諸条件が整い次第予算化を検討するとしたもののうち、要件を満たしたものであって、緊急を要するものの補正

2 補正予算見積状況

補正予算額	1億3,900万円
補正前の予算額	411億5,000万円
補正後の予算額	412億8,900万円

3 歳入の主な増額・減額項目

予算書P	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	市税			
12	環境性能割現年課税分	300万円	一般財源	税制改正により新設
	地方譲与税			
12	森林環境譲与税	826万5千円	一般財源	税制改正により新設
	国庫支出金			
12	社会資本整備総合交付金(街路分)	4,058万9千円	街路整備事業	交付金内示額決定による増
12	子ども・子育て支援事業費補助金	1,102万4千円	保育政策費	幼児教育・保育の無償化に伴い発生する事務費等への補助による増
	県支出金			
12	中山間地域等直接支払交付金	46万2千円	中山間地域等支援事業	協定面積の追加による増
12	農業用ハウス強靱化緊急対策事業	132万5千円	農業用ハウス強靱化緊急対策事業	災害対策のため、農業用ハウスの強靱化を目的とした県補助金を活用する
12	UIJ ターン就業移住事業	150万円	しごと創出事業	市内への移住・就業支援を推進するため、県補助金を活用する
	繰入金			
12	財政調整基金繰入金	2,413万5千円	一般財源	財源調整による
	市債			
14	旧合併特例事業債(民生債)	1,880万円	公立認定こども園整備費	明科南認定こども園整備費の変更に伴う増
14	公共事業等債(土木債)	2,990万円	街路整備事業	社会資本整備総合交付金(街路分)の内示額決定に伴う増

4 歳出の主な増額・減額項目

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
総務費			
16	寄附採納事務	△261万6千円	ふるさと寄附事務処理システム導入による不用額の減
16	水資源対策費	150万8千円	水資源対策協議会への負担金支払いによる増
民生費			
18	老人福祉施設管理事業	494万7千円	明科デイサービスセンター車いす型入浴リフト取替による増
18	公立認定こども園整備費	3,427万4千円	明科認定こども園整備に係る駐車場整備費追加による増
18	保育政策費	1,102万4千円	幼児教育・保育無償化対策に伴うシステム改修等による増
農業費			
20	農業用ハウス強靱化緊急対策事業	132万5千円	災害対策のため、農業用ハウス強靱化を目的とした補助による増
20	安曇野の里運営事業	144万5千円	特定建築物に係る建築基準法・消防法点検結果により必要となった修繕による増
20	林業振興事業	826万5千円	森林環境譲与税の基金積立による増
商工費			
22	しごと創出事業	200万円	県補助金を活用し、市内への移住・就業支援を推進するための補助による増
土木費			
24	街路整備事業	7,379万9千円	都市計画道路（吉野線）を整備するにあたり、社会資本整備総合交付金（街路分）の内示額が確定したことによる増

5 債務負担行為

次の事業については、複数年にわたる事業のため債務負担行為の設定をします。

1 追加

事業名	限度額	期間	設定を必要とする理由
本庁舎総合管理業務	152万4千円	令和2年度まで	本庁舎管理業務委託契約について、消費税増税分を追加するため
認定こども園給食調理業務	1億7,805万3千円	令和2年度まで	来年度業務に係る契約のため

【参考】

令和元年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算（第1号）	41,150,000	139,000	41,289,000

安曇野市国民健康保険特別会計	10,507,526		10,507,526
安曇野市後期高齢者医療特別会計	1,167,317		1,167,317
安曇野市介護保険特別会計 補正予算（第1号）	9,354,568	6,736	9,361,304
安曇野市上川手山林財産区特別会計	1,825		1,825
安曇野市北の沢山林財産区特別会計	2,656		2,656
安曇野市有明山林財産区特別会計	3,626		3,626
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計	1,125		1,125
安曇野市穂高山林財産区特別会計	1,239		1,239
安曇野市産業団地造成事業特別会計	32,412		32,412
安曇野市有明荘特別会計	12,303		12,303
特別会計合計	21,084,597	6,736	21,091,333
総 計（一般会計+特別会計）	62,234,597	145,736	62,380,333

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計 補正予算	収益的収入	2,335,142		2,335,142
	収益的支出	1,887,465		1,887,465
	資本的収入	386,894		386,894
	資本的支出	1,843,520		1,843,520
安曇野市下水道事業会計 補正予算	収益的収入	4,304,266		4,304,266
	収益的支出	3,768,696		3,768,696
	資本的収入	797,227		797,227
	資本的支出	2,480,707		2,480,707

令和元年度一般会計補正予算（第2号）の概要等

1 令和元年度一般会計補正予算（第2号）の編成方針等

○ 基本事項

現時点までの予算執行状況を的確に分析し、令和元年度の後期の必要経費を積算した上で、予算に過不足が生じることが予測される場合であって、原則として次の事項に該当するものを補正する。

- ①本年度の予算執行段階において、見直し等を決定した予算及び、入札等により事業費が確定したことによる補正
- ②事業実施に関する諸条件が整ったことによる事業化の見通しがたったもので、緊急を要するなど、年度途中で事業実施に踏み込む正当な事由がある事業等の補正
- ③市民の安全確保や利便性確保のため、緊急を要する事業等であって、既決予算を超える部分の補正

2 補正予算見積状況

補正予算額	8億7,500万円
補正前の予算額	412億8,900万円
補正後の予算額	421億6,400万円

3 歳入の主な増額・減額項目

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	地方特例交付金			
12	地方特例交付金	462万7千円	一般財源	交付額の決定による
12	自動車税減収補填特例交付金	876万4千円	一般財源	交付額の決定による
12	軽自動車税減収補填特例交付金	328万7千円	一般財源	交付額の決定による
	地方交付税			
12	普通交付税	7億6,798万1千円	一般財源	交付額の決定による
	分担金及び負担金			
12	保育児童保育料	△1億8,724万円	認定こども園管理費 保育政策費	消費税増税に伴う 幼児教育・保育無償化 による減
	使用料及び手数料			
12	幼稚園使用料	△551万1千円	穂高幼稚園運営費	消費税増税に伴う 幼児教育・保育無償化 による減
	国庫支出金			
14	子育てのための施設等利用給付費負担金	645万9千円	保育政策費	子ども・子育て支援に係る新制度の創出による増
14	児童扶養手当国庫負担金	2,492万円	児童福祉総務費	児童扶養手当の給付月変更に伴う増
14	母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金	406万7千円	児童福祉総務費	未婚の児童扶養手当受給者に対する給付事業の創出による増
14	プレミアム付商品券事務費補助金	1,723万8千円	社会福祉総務費	プレミアム付商品券発行事務経費に対する補助額の増
14	プレミアム付商品券事業費補助金	1億円	社会福祉総務費	プレミアム増額分(公費負担分)の計上

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
14	社会資本整備総合交付金(体育館分)	△1億2,300万円	新総合体育館建設事業	交付決定による
14	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金	983万2千円	林業振興事業	再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業に対する補助
県支出金				
16	子育てのための施設等利用給付費負担金	322万9千円	保育政策費	子ども・子育て支援に係る新制度の創出による増
16	第3子以降の保育料減免事業補助金	△450万7千円	認定こども園管理費 保育政策費	幼児教育・保育無償化に伴い、無償対応となる部分の減
16	信州やまほいく保育料負担軽減事業補助金	370万円	保育政策費	幼児教育・保育無償化に伴い実施される信州やまほいく認定園利用者に対する負担軽減事業における補助
財産収入				
16	市有土地貸付収入(山林)	354万3千円	林業振興事業 間伐対策事業	市有土地(山林)への鉄塔敷借地料及び高圧線の線下補償料
16	市有地売払収入	203万3千円	一般財源	未利用地等の売却に伴う売払収入
16	不用品売払収入	135万円	一般財源	公用車の売払収入
寄附金				
18	指定寄附金	87万5千円	一般管理費 林業振興事業 松くい虫被害対策事業 災害対策費 小学校教育振興費 堀金公民館事業	指定寄附による寄附額の増
18	ふるさと寄附金	500万円	寄附採納事務	クラウドファンディング型ふるさと寄附事業による寄附額の増

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	繰入金			
18	財政調整基金繰入金	7,618 万円	一般財源	財源調整による
18	旧穂高町外 1ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金繰入金	420 万円	林業振興事業	区防災倉庫建設に対する補助金支出における繰入増
18	三郷農林漁業体験実習館基金繰入金	475 万 2 千円	ファインビュー室山運営事業	ファインビュー室山における火災報知用感知器交換工事に対する繰入増
18	ふるさと寄附基金繰入金	200 万円	都市計画総務費	サイクリングロードガイドライン策定に対する繰入増
	繰越金			
18	繰越金	6 億 6,597 万 1 千円	一般財源	前年度繰越金
	市債			
20	臨時財政対策債	2,419 万 1 千円	一般財源	発行可能額の決定による
20	旧合併特例事業債	2 億 4,220 万円	水道事業	豊科・明科地域整備事業の追加事業による増 (1 億 2,630 万円)
			新総合体育館建設事業	国庫支出金の減に伴う起債対象経費の増 (1 億 1,590 万円)
20	借換債	△8 億 2,060 万円	長期借入金償還元金	借換債 (衛生債・旧合併特例事業債) の発行取止めによる減
20	公共施設等適正管理推進事業債	1,350 万円	都市公園等維持管理事業	都市公園施設の長寿命化事業に対する増
20	学校教育施設等整備事業債	△1 億 6,790 万円	小学校施設改修事業	防災・減災、国土強靱化緊急対策事業債への変更
20	防災・減災、国土強靱化緊急対策事業債	1 億 8,660 万円	小学校施設改修事業	学校教育施設等整備事業債からの変更及び充当率変更による増

4 歳出の主な増額・減額項目

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	議会費		
22	議会費	△503万5千円	議員欠員による報酬の減外
	総務費		
24	寄附採納事務	8,430万5千円	寄附額の増に伴う返礼品費等の増
24	職員管理	△747万1千円	負担職員減による退職手当負担金の減外
24	AED維持管理費	△200万円	AED本体(37台)の購入実績による減
26	基金積立金	3億6,021万5千円	繰越金確定に伴う財政調整基金への積立て分外
28	区等地域力向上事業	△300万2千円	地域おこし協力隊員1名採用取止めによる減
30	税務総務費	415万円	法人市民税、固定資産税更正による還付金、還付加算金の発生に伴う増外
	民生費		
34	社会福祉総務費	1億2,192万5千円	プレミアム付商品券発行経費等による増
34	障がい者支援事業	471万1千円	消費税増税に伴う就学前障害児発達支援無償化給付等による増
38	児童福祉総務費	9,216万円	制度改正に伴う児童扶養手当の給付月変更に伴う増外
38	保育政策費	1,986万7千円	幼児教育・保育無償化に伴う子育てのための施設等利用給付費支出による増外
42	生活保護総務費	513万2千円	国の生活保護関連様式等の修正に伴う生活保護事務処理システムの改修による増外

予 算 書 ペ ー ジ	事 業 名	増(減)額	主 な 内 容
	衛生費		
44	清掃費	1,169万4千円	穂高広域施設組合分担金額確定による増
46	水道事業	1億2,630万円	豊科・明科地域の給水整備事業における工事箇所増加に伴う水道事業出資金の増
	農林水産業費		
48	有害鳥獣駆除対策	72万円	有害鳥獣駆除用簡易無線機用イヤホンマイク購入による増
48	ファインビュー室山運営事業	475万2千円	火災報知用感知器交換工事による増
50	三郷堆肥センター運営事業	973万円	三郷堆肥センター施設修繕工事による増
50	林業振興事業	1,705万6千円	再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業における木質チップボイラー導入事業化計画策定業務による増外
50	間伐対策事業	177万2千円	鉄塔敷借地料収入等を財源とした分収造林事業基金への積立による増
	商工費		
54	産業連携推進事業	△307万8千円	地域おこし協力隊の減員に係る減外
54	受入体制整備事業	140万7千円	シェアサイクル実証実験に伴う補助金交付による増外
54	安曇野ブランド情報発信事業	141万円	信州松本空港地元利用促進協議会への負担金額の増
56	消費者行政対策費	152万8千円	消費生活相談員の賃金計上による増外

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	土木費		
58	除雪対策費	656万9千円	除雪対応の準備に伴い、故障した融雪剤散布機(1台)の購入外
58	県営新設改良事業	500万円	急傾斜地崩壊対策事業(大口沢)の施工箇所増に伴う建設負担金の増
60	都市計画総務費	△926万1千円	4月1日人事異動による人件費の減(△1,310万円) 都市計画マスタープラン改定支援業務委託及びサイクリングロードのサインガイドライン作成業務委託等による増(383万9千円)
60	新総合体育館建設事業	79万7千円	クラウドファンディング型ふるさと寄附事業による返礼事務費等の増
60	都市公園等維持管理事業	1,500万円	公園施設長寿命化事業(成相広場、堀金中央公園)に係る工事費の増
60	都市下水路維持管理費	145万3千円	町尻都市下水路における堆積土砂の排除業務による増
60	市街地排水路改修事業	129万8千円	穂高駅西広場浸透施設における堆積土砂排除業務による増
62	住宅管理費	100万円	アルプス団地入居者移転補償による増
	教育費		
66	事務局費	150万円	教育指導員1名増員に伴う賃金の増外
66	北部給食センター費	△233万2千円	給食用器具額の確定による減外
68	中学校総務管理費	△412万9千円	市費学校事務員2名減による賃金の減
70	幼稚園総務費	△255万9千円	幼児教育無償化に伴う幼稚園就園奨励費廃止による減
72	交流学习センター等管理費	447万6千円	明科子どもと大人の交流学习施設内フェンス設置工事による増外
	参考		
79	職員人件費 (給料・手当・共済)	△155万円	給料(△2,090万円) 手当(1,790万円) 共済(145万円)

5 債務負担行為

次の事業については、複数年にわたる事業のため債務負担行為の設定をします。

追加

事業名	限度額	期間	設定を必要とする理由
令和元年（行ウ）第9号 許可処分取消等請求事件	許可処分取消等請求事件に係る報酬 及び訴訟費用等	事件結果が判明する日まで	一般廃棄物処理業の許可処分取消請求事件に係る弁護士費用等
都市計画マスタープラン 改定支援業務委託	147万7千円	令和2年度まで	大規模開発の需要増等から、都市計画マスタープランの見直しを来年度にかけて実施する必要があるため。
土地利用制度適正化推進 業務委託	744万円	令和2年度まで	来年度にかけて見直しを実施する都市計画マスタープランに合わせ、「市土地利用基本計画」の見直しが必要となるため。
聖火リレーセレモニー会場等 運営設営業務委託	500万円	令和2年度まで	来年4月に2020年東京オリンピック聖火リレーが実施されることにより、セレモニー会場等の運営設営準備が必要となるため。

【参考】

令和元年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算（第2号）	41,289,000	875,000	42,164,000
安曇野市国民健康保険特別会計 補正予算（第1号）	10,507,526		10,507,526
安曇野市後期高齢者医療特別会計 補正予算（第1号）	1,167,317		1,167,317
安曇野市介護保険特別会計 補正予算（第2号）	9,361,304	207,599	9,568,903
安曇野市上川手山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,825	543	2,368
安曇野市北の沢山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	2,656	170	2,826
安曇野市有明山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	3,626	262	3,888
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,125	121	1,246
安曇野市穂高山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,239	69	1,308
安曇野市産業団地造成事業特別会計 補正予算（第1号）	32,412	4,330	36,742
安曇野市有明荘特別会計 補正予算（第1号）	12,303	0	12,303
特別会計合計	21,091,333	213,094	21,304,427
総 計（一般会計+特別会計）	62,380,333	1,088,094	63,468,427

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計	収益的収入	2,335,142		2,335,142
	収益的支出	1,887,465		1,887,465
	資本的収入	386,894	126,300	513,194
	資本的支出	1,843,520	191,700	2,035,220
安曇野市下水道事業会計	収益的収入	4,304,266		4,304,266
	収益的支出	3,768,696		3,768,696
	資本的収入	797,227		797,227
	資本的支出	2,480,707		2,480,707

令和元年度一般会計補正予算（第3号）の概要等

1 令和元年度一般会計補正予算（第3号）の編成方針等

○ 基本事項

現時点までの予算執行状況を的確に分析し、令和元年度末までの必要経費を積算した上で、予算に過不足が生じることが予測される場合であって、原則として次の事項に該当するものを補正する。

- ① 本年度の予算執行段階において見直し等を決定した補正、また、年度末に向けて予算執行の計画が無いもの、及び入札等により事業費が確定したことによる減額補正
- ② 国の経済対策など、年度途中で実施に踏み込む正当な事由がある事業等の補正
- ③ 市民の安全確保や利便性確保のため、緊急を要する事業等であって、既決予算を超える部分の補正
- ④ 翌年度当初からの事業実施のため、令和元年度中に対応が必要となる経費の補正

2 補正予算見積状況

補正予算額	5, 200万円
補正前の予算額	421億6, 400万円
補正後の予算額	422億1, 600万円

3 歳入の主な増額・減額項目

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	市税			
12	市民税現年課税分	1億5,000万円	一般財源	歳入見込みによる
12	固定資産税現年課税分	1億5,000万円	一般財源	歳入見込みによる
12	軽自動車税現年課税分	1,500万円	一般財源	歳入見込みによる
	国庫支出金			
12	児童入所施設措置費 等国庫負担金	343万9千円	母子福祉事業	所要額の変更による増
12	子ども・子育て支援事 業費補助金	450万4千円	保育政策費	幼児教育・保育の無償化 に係るシステム関連経 費に対する補助
12	感染症予防事業費等 国庫負担(補助)金	△239万7千円	予防接種事業	風しん抗体検査委託費の 見込額確定等に伴う減
12	道路改良費補助金	△1,019万2千円	除雪対策費	交付額決定による減
	県支出金			
14	児童入所施設措置費 等県費負担金	171万9千円	母子福祉事業	所要額の変更による増
14	福祉医療給付事業補 助金	729万5千円	福祉医療費給付 事業	補助対象事業費の増額 に伴う増
14	経営所得安定対策等 推進事業費補助金	△278万7千円	水田農業振興事業	交付額決定による減
14	産地パワーアップ事業	935万5千円	農業生産振興費	対象事業の追加による増
14	県民税徴収事務委託金	200万円	税務総務費	納税義務者数の増加に 伴う増
	繰入金			
14	財政調整基金繰入金	△2億150万7千円	一般財源	財源調整による
14	霊園基金繰入金	324万5千円	霊園管理費	穂高墓地公園の積石造 壁耐震改修に伴う実施 設計業務に対する繰入

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
16	地域振興基金繰入金	△519 万円	区等地域力向上事業	区等交付金確定による繰入額の減
16	ふるさと寄附基金繰入金	△1,866 万 6 千円	認定こども園管理費	認定こども園空調機設置事業費の確定による減
	諸収入			
16	福祉医療費貸付金元金収入	106 万 7 千円	福祉医療費給付事業	貸付金額の増額に伴う増
16	コミュニティ助成事業助成金（一般・地域防災）	△660 万円	区等地域力向上事業	交付額確定による減
16	消防団員退職報償金	△868 万 1 千円	非常備消防費	退職報償金の支給対象者確定による減
	市債			
16	旧合併特例事業債	△4,480 万円	公立認定こども園整備費	たつみ認定こども園周辺整備の設計を一部再検討したことにより、工期に変更が生じたことによる減（減額分について、債務負担行為を設定）

4 歳出の主な増額・減額項目

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	総務費		
18	寄附採納事務	7,870 万円	寄附額の増に伴う返礼品費等の増
18	職員管理	△170 万円	派遣職員旅費額の確定による減
18	区等地域力向上事業	△1,179 万 1 千円	コミュニティ助成事業交付金及び区等交付金の交付額確定に伴う減

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
18	電算管理費	△294万7千円	電算システム保守及び電算システム機器リース等の経費確定による減
	民生費		
22	福祉医療費給付事業	2,896万2千円	受診件数の増加による福祉医療費の増、及び福祉医療費資金貸付金の増
22	障がい者支援事業	398万7千円	障害児入所給付費等国庫負担金の所要額確定による返還分の増 外
24	母子福祉事業	693万4千円	母子寮入所世帯増に伴う扶助費の増 外
24	国保会計繰出金	450万円	繰出し対象経費（出産育児一時金など）の増
24	老人福祉総務費	733万9千円	入浴割引券交付事業の利用者増などによる増 外
24	老人福祉施設管理事業	△1,162万円	穂高地域福祉センターエアコン更新事業費の確定による減 外
26	介護保険対策費	203万2千円	認定調査係の本庁舎移動に係る経費などによる増
26	公立認定こども園整備費	△4,715万4千円	たつみ認定こども園周辺整備の設計を一部再検討したことにより、工期に変更が生じたことによる減（減額分について、債務負担行為を設定）
28	保育政策費	477万4千円	幼児教育・保育の無償化に係るシステム関連経費などによる増
28	認定こども園管理費	△1,916万6千円	認定こども園空調機設置事業費の確定による減 外
28	認定こども園給食運営費	801万4千円	食数の増及び災害等による食材価格の上昇による給食材料費の増

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	衛生費		
32	予防接種事業	△773万1千円	風しん抗体検査委託費の見込額確定等による減
32	霊園管理費	324万5千円	穂高墓地公園の積石造壁耐震改修に伴う実施設計業務による増
	農林水産業費		
34	農業生産振興費	950万4千円	産地パワーアップ事業補助金の対象事業追加による増 外
34	水田農業振興事業	△278万7千円	経営所得安定対策等推進事業の補助金交付額決定による減
36	畜産振興事業	218万円	豚コレラ防疫緊急対策事業に係る消石灰等の購入経費補助による増
36	間伐対策事業	374万1千円	県事業である森林環境保全整備事業の事業量増に伴う市補助金の増
	商工費		
40	観光イベント事業	△136万6千円	安曇野ハーフマラソン大会に係る不用額(グラウンド復旧経費)等の減
	消防費		
44	非常備消防費	△866万4千円	消防団退団者退職報償金等の確定による減
	教育費		
46	小学校教育振興費	345万9千円	教科書改訂に伴う教科書(教員用)及び小学校教育指導書の購入による増 外
48	小学校施設維持修繕事業	837万8千円	各小学校の施設維持修繕費の増
48	小学校施設改修事業	△1,328万1千円	三郷小学校耐震診断業務委託費の確定による減
50	交流学習センター等管理費	267万2千円	三郷交流学習センター光熱水費の増によるもの 外
52	社会体育総務費	89万8千円	東京2020オリンピック聖火リレー(令和2年4月3日実施予定)の実施に向けた事前準備に係る経費による増
	参考		
5	職員人件費 (給料・手当・共済)	△1,059万8千円	給料(△630万円) 手当(△159万8千円) 共済(△270万円)

5 繰越明許費

次の事業については、年度内に事業が完了しない見込みのため繰越します。

事業名	金額	繰越理由
凍結防止剤散布車購入事業	2,401万1千円	本年度補助対象となった凍結防止剤散布車購入事業を、国の予算繰越承認を得て繰越すため。

6 債務負担行為

次の事業については、複数年にわたる事業のため債務負担行為の設定をします。

1 追加

事項	期間	限度額	内容
指定管理による豊科農産物加工交流センター管理業務	令和2年度から令和6年度まで	695万円	指定管理期間が複数年となるため
指定管理による豊科安曇野の里自然活用村施設（あづみ野ガラス工房・あづみ野第2ガラス工房）管理業務	令和2年度から令和4年度まで	3,450万円	
指定管理による豊科安曇野の里自然活用村施設（ビレッジ安曇野・プラザ安曇野1階東及び2階・わさび田広場）管理業務	令和2年度から令和4年度まで	780万円	
基幹系システム更新に係る構築業務	令和2年度まで	1,633万8千円	基幹系システムの構築が複数年となるため
たつみ認定こども園建設事業	令和2年度まで	4,715万4千円	工事期間が複数年となるため
舗装補修工事	令和2年度まで	5,300万円	
中村開田・小泉開田組合水利権移行に伴う反復利用調査業務	令和2年度まで	132万円	調査期間が複数年となるため

事項	期間	限度額	内容
穂高幼稚園給食調理業務	令和2年度から 令和6年度まで	3,465万円	業務の契約期間が複数 年となるため

2 変更

事業名	補正前		補正後		変更の理由
	期間	限度額	期間	限度額	
認定こども園給食 調理業務	令和2年 度まで	1億7,805万3 千円	令和2年度から 令和6年度まで	8億9,026万5 千円	期間及び限度額 を見直したため

【参考】

令和元年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算（第3号）	42,164,000	52,000	42,216,000
安曇野市国民健康保険特別会計 補正予算（第1号）	10,507,526	90,223	10,597,749
安曇野市後期高齢者医療特別会計 補正予算（第1号）	1,167,317		1,167,317
安曇野市介護保険特別会計 補正予算（第3号）	9,568,903	1,514	9,570,417
安曇野市上川手山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	2,368		2,368
安曇野市北の沢山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	2,826		2,826
安曇野市有明山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	3,888		3,888
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,246		1,246
安曇野市穂高山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,308		1,308
安曇野市産業団地造成事業特別会計 補正予算（第2号）	36,742	△13,212	23,530
安曇野市有明荘特別会計 補正予算（第1号）	12,303		12,303
特別会計合計	21,304,427	78,525	21,382,952
総 計（一般会計+特別会計）	63,468,427	130,525	63,598,952

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計	収益的収入	2,335,142		2,335,142
	収益的支出	1,887,465		1,887,465
	資本的収入	513,194		513,194
	資本的支出	2,035,220		2,035,220
安曇野市下水道事業会計	収益的収入	4,304,266		4,304,266
	収益的支出	3,768,696		3,768,696
	資本的収入	797,227		797,227
	資本的支出	2,480,707		2,480,707

令和元年度一般会計補正予算（第4号）の概要等

1 令和元年度一般会計補正予算（第4号）の編成方針等

○ 基本事項

令和元年8月の人事院勧告に基づく法改正に伴い、安曇野市特別職の職員の給与等に関する条例及び安曇野市一般職の職員の給与に関する条例の一部が改正されることに伴う補正、また、台風19号に伴い被災した道路施設及び耕地施設などの復旧経費の計上に伴う補正、及び明科南認定こども園建設事業の請負業者変更等に伴う補正をする。

2 補正予算見積状況

補正予算額	5,800万円
補正前の予算額	422億1,600万円
補正後の予算額	422億7,400万円

3 歳入の主な増額・減額項目

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	分担金及び負担金			
10	耕地災害復旧事業負担金	470万1千円	耕地災害復旧事業	耕地災害復旧工事に係る受益者負担金
	県支出金			
10	耕地災害復旧事業補助金	276万3千円	耕地災害復旧事業	国の災害復旧事業による
	繰入金			
10	財政調整基金繰入金	△4,632万4千円	一般財源	財源調整による
	諸収入			
10	契約解除違約金（明科南認定こども園建設事業分）	6,696万円	一般財源	明科南認定こども園建設事業の請負契約解除に伴うもの
	市債			
10	旧合併特例事業債	1,460万円	公立認定こども園整備費	明科南認定こども園建設事業の請負業者変更等に伴う工事費の増による起債
10	施設整備事業債	1,530万円	公立認定こども園整備費	明科南認定こども園建設事業の請負業者変更等に伴う工事費の増による起債

4 歳出の主な増額・減額項目

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	民生費		
16	公立認定こども園整備費	3,079万円	明科南認定こども園建設事業の請負業者変更等に伴い発生した工事費など

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	災害復旧費		
26	道路災害復旧事業	1,582万9千円	台風19号に起因する道路施設等復旧工事に係る経費
26	耕地災害復旧事業	829万9千円	台風19号に伴う耕地施設等復旧工事に係る経費
	参考		
28	特別職 (手当)	70万2千円	長等(16万4千円) 議員(53万8千円)
29	一般職 (給料・手当)	238万円	給料(27万円) 手当(211万円)

【参考】

令和元年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算（第4号）	42,216,000	58,000	42,274,000
安曇野市国民健康保険特別会計 補正予算（第1号）	10,597,749		10,597,749
安曇野市後期高齢者医療特別会計 補正予算（第1号）	1,167,317		1,167,317
安曇野市介護保険特別会計 補正予算（第3号）	9,570,417		9,570,417
安曇野市上川手山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	2,368		2,368
安曇野市北の沢山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	2,826		2,826
安曇野市有明山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	3,888		3,888
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,246		1,246
安曇野市穂高山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,308		1,308
安曇野市産業団地造成事業特別会計 補正予算（第2号）	23,530		23,530
安曇野市有明荘特別会計 補正予算（第1号）	12,303		12,303
特別会計合計	21,382,952		21,382,952
総 計（一般会計+特別会計）	63,598,952	58,000	63,656,952

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計	収益的収入	2,335,142		2,335,142
	収益的支出	1,887,465		1,887,465
	資本的収入	513,194		513,194
	資本的支出	2,035,220		2,035,220
安曇野市下水道事業会計	収益的収入	4,304,266		4,304,266
	収益的支出	3,768,696		3,768,696
	資本的収入	797,227		797,227
	資本的支出	2,480,707		2,480,707

令和元年度一般会計補正予算（第5号）の概要等

1 令和元年度一般会計補正予算（第5号）の編成方針等

○ 基本事項

現時点までの予算執行状況を把握・分析し、令和元年度末までの必要経費を積算した上で、予算に過不足が生じることが予測される場合であって、原則として次の事項に該当するものを補正する。

【歳入】 ①収入状況と予算額が乖離している（予測される）予算の補正

【歳出】 ①事業費の確定により、明らかに不用額となる予算の補正
②経常経費が不足する（予測される）予算の補正
③新年度の事務事業に対応（準備経費）する予算の補正

2 補正予算見積状況

補正予算額	10億4,200万円
-------	------------

補正前の予算額	422億7,400万円
---------	-------------

補正後の予算額	433億1,600万円
---------	-------------

3 歳入の主な増額・減額項目

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	市税			
14	法人市民税現年課税分	9,000万円	一般財源	歳入見込みによる
14	市たばこ税現年課税分	7,000万円		
14	入湯税現年課税分	1,000万円		
	地方特例交付金			
14	子ども・子育て支援臨時交付金	9,449万7千円	一般財源	幼児教育・保育の無償化による
	分担金及び負担金			
14	土地改良事業地元分担金	△51万4千円	団体営土地改良事業	県の補助率変更などによる地元分担金の減
14	森林総合研究所負担金	△68万8千円	間伐対策事業	分収契約地造林事業の確定による
	使用料及び手数料			
16	公共施設目的外使用料(体育施設)	131万円	一般財源	実績による
16	霊園使用料	796万5千円	霊園管理費	実績による
16	可燃ごみ処理手数料	558万1千円	清掃費	実績による
	国庫支出金			
16	障害児入所給付費等負担金	1,160万1千円	障がい者支援事業	負担金額の確定見込による
16	生活保護費国庫負担金前年度精算分	478万5千円	生活保護総務費	前年度生活保護費国庫負担金(生活扶助費等)不足分の確定による
16	児童手当国庫負担金	△2,749万1千円	児童福祉総務費	負担金額の確定見込による
16	保険基盤安定負担金	298万3千円	国保会計繰出金	負担金額の確定見込による
16	道路改良費補助金	△7,533万3千円	社会資本整備総合交付金事業	交付金内示額決定による

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
18	住宅・建築物安全ストック形成事業補助金	276万9千円	耐震化推進事業	木造住宅耐震診断補助金、耐震補強工事補助金等の確定による
18	社会資本整備総合交付金(公園分)	△1,300万円	都市公園等維持管理事業	交付金内示額決定による
18	社会資本整備総合交付金(体育館分)	1億2,100万円	新総合体育館建設事業	交付金追加内示による
18	学校施設環境改善交付金	7,574万8千円	小学校施設改修事業 中学校冷房設備等整備事業	中学校冷房施設整備等による
県支出金				
20	森林健全化推進事業補助金	△1,345万9千円	松くい虫被害対策事業	交付金内示額決定による
20	森林造成事業費補助金	△345万3千円	松くい虫被害対策事業 市有林の造成及び管理	交付金内示額決定による
20	団体営土地改良事業補助金	463万1千円	団体営土地改良事業	県の補助率増などによる
20	多面的機能支払推進交付金	△786万9千円	多面的機能支払交付金事業	交付金内示額決定による
20	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金	△536万5千円	耐震化推進事業	木造住宅耐震診断補助金、耐震補強工事補助金等の確定による
20	県議会議員一般選挙委託金	△3,039万7千円	県議会議員選挙費	執行経費確定による
20	参議院議員選挙委託金	△1,101万8千円	参議院議員選挙費	執行経費確定による
財産収入				
22	市有地売却収入	804万6千円	一般財源	市有普通財産売却収入
寄附金				
22	ふるさと寄附金	6億3,000万円	寄付採納事務	ふるさと寄附金実績による

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	繰入金			
22	財政調整基金繰入金	△645万6千円	一般財源	財源調整による
22	減債基金繰入金	△2億円	長期借入金償還元金	余剰財源による繰入の取止め
24	ふるさと寄附基金繰入金	5億3,400万円	中学校冷房設備等 整備事業	中学校冷房施設整備による
	諸収入			
24	建物総合損害共済金	266万6千円	堀金支所費 財産管理費 認定こども園管理費 消防施設維持整備事業 小学校施設維持修繕事業	損害共済金の確定見込み による
	市債			
26	旧合併特例事業債	△1億8,250万円	財産管理費	上川手書庫・豊科解放館解体工事实績による △200万円
			社会資本整備総合 交付金事業	道路改良事業、橋梁修繕事 業、舗装修繕事業の確定に よる △6,550万円
			新総合体育館建設 事業	社会資本整備総合交付金 (体育館分)の追加内示に よる △1億1,500万円
26	公共事業等債	△1,670万円	県営土地改良事業	県営農道整備事業に係る負 担金額確定による △90万円
			都市公園等維持管 理事業	対象事業費の確定による △1,170万円
			都市再生整備計画 事業(都市整備分)	明科駅周辺整備に係る事業 費の確定による △410万円
26	公共施設等適正管理推進 事業債	△90万円	都市公園等維持管 理事業	対象事業費の確定による
26	防災・減災、国土強靱化 緊急対策事業債	△1,570万円	小学校施設改修事業	堀金小学校体育館非構造 部材耐震化工事費等の確 定による

4 歳出の主な増額・減額項目

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
総務費			
30	寄附採納事務	7億4,910万9千円	ふるさと寄附返礼品の増(9,000万円)、及びふるさと寄附基金への積立金の増(6億3,000万円)などによる
30	職員管理	△808万1千円	臨時職員分の社会保険料(健康保険及び厚生年金)減などによる
32	文書管理費	548万7千円	通信運搬費の増による
32	基金積立金	1億6,238万4千円	公共施設整備基金などへの積立による
34	公共交通事業	△825万6千円	安曇野市地域公共交通協議会への負担見込額の確定などによる
36	国際友好交流事業	△409万4千円	クラムザッハ公式訪問旅行委託料などの確定による
38	参議院議員選挙費	△1,300万7千円	選挙執行経費の確定による
40	県議会議員選挙費	△3,039万5千円	選挙執行経費の確定による
民生費			
42	社会福祉総務費	△326万6千円	プレミアム付商品券事業費の見込額確定などによる
42	障がい者支援事業	4,811万4千円	障害児通所給付費などの確定による
44	国保会計繰出金	△697万6千円	国保特別会計繰出金の見込額確定による
44	老人福祉総務費	△599万7千円	介護慰労金支給事業費の支払見込額確定などによる
48	児童福祉総務費	△4,317万1千円	児童手当給付費の支払見込額確定などによる
50	認定こども園管理費	△800万3千円	運営事業経費の確定などによる
52	生活保護総務費	384万円	生活保護給付費などの見込額確定による

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
衛生費			
54	予防総務費	△459万7千円	保健師等、専門職臨時職員賃金の見込額確定などによる
56	霊園管理費	763万6千円	穂高墓地公園積石造塀の耐震診断委託業務料の確定などによる
農林水産業費			
62	畜産振興事業	431万7千円	豚コレラ防疫緊急対策事業における補助金支出による
64	松くい虫被害対策事業	△1,395万2千円	松林健全化補助事業(伐倒駆除)経費の減などによる
64	市有林の造成及び管理	△604万6千円	堀金市有林森林整備事業間伐業務の見直しによる
66	林道危険箇所重点整備事業	△322万6千円	整備実績(烏川線)による
66	耕地総務費	△447万3千円	国営造成施設管理補助金の確定などによる
66	多面的機能支払交付金事業	△1,049万1千円	多面的機能活動支援補助金の確定による
商工費			
68	工業振興事業	△2,800万円	企業等支援助成事業費の確定による
68	市制度資金貸付事業	419万6千円	制度資金保証料補給金の確定による
68	産業連携推進事業	△258万5千円	地域資源活用型連携推進事業費の確定による
68	しごと創出事業	△500万円	空き店舗等活用促進事業、UIJ ターン就業移住事業の確定による
70	施設管理整備事業	△436万4千円	有明荘特別会計繰出金などの確定による
土木費			
72	県営新設改良事業	△1,119万円	急傾斜地崩壊対策事業費(大口沢)及び県営交通安全対策事業費(本吉町)の精算に伴う県営新設改良事業負担金の確定による
74	社会資本整備総合交付金事業	△1億3,718万3千円	市道新設改良事業費及び道路橋梁修繕事業費の確定による
74	都市計画総務費	△795万7千円	事業実施見込額の確定による

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
76	耐震化推進事業	△796 万円	住宅耐震化事業補助金事業の見込額の確定などによる
78	都市再生整備計画事業(都市整備分)	△495 万 5 千円	都市再生整備計画事業(明科駅周辺)の事業実施見込額の確定による
78	都市公園等維持管理事業	△2,411 万円	公園施設長寿命化対策支援事業費の確定などによる
78	下水道事業	△2,241 万 5 千円	分流式下水道に要する経費等の減額見込みによる
消防費			
82	災害対策費	△263 万円	防災用品購入補助金の補助見込額の確定による
教育費			
84	事務局費	△561 万円	高校・大学等入学準備金貸付見込額の確定などによる
86	小学校教育振興費	△454 万 3 千円	要保護・準要保護児童生徒就学援助費の確定などによる
86	小学校施設改修事業	△3,348 万 7 千円	小学校施設改修事業(豊科南、穂高南、明北)の確定による
88	中学校冷房設備等整備事業	6 億 1,794 万円	市内中学校冷房設備設置工事による
参考			
101	職員人件費 (給料・手当・共済)	△5,358 万 6 千円	給料 (△450 万円) 手当 (△4,118 万 6 千円) 共済 (△790 万円)

5 繰越明許費

次の事業については、年度内に事業が完了しない見込みのため繰越します。

1 追加

事業名	金額	繰越理由
プレミアム付商品券事業	1,626万円	商品券の換金事務及び支払い事務など、年度内での事業完了が困難であるため
都市再生整備計画事業(明科駅周辺)	2億498万5千円	地権者との交渉や工事に必要な資材調達に日数を要することから、年度内での事業完了が困難であるため
中学校冷房設備等整備事業	6億1,794万円	国の補正予算により学校施設環境改善交付金を受けて実施する事業であり、年度内での事業完了が困難であるため

6 債務負担行為

以下のとおり、債務負担行為の補正を行います。

1 追加

事業名	限度額	期間	設定を必要とする理由
広報あづみの印刷業務	1,647万4千円	令和2年度まで	来年度印刷業務に係る契約のため
コミュニティーFM 市政情報放送業務	792万円	令和2年度まで	来年度放送業務に係る契約のため
江戸川区花火大会バス運転業務	7万4千円	令和2年度まで	来年度バス運行業務に係る契約のため
若者・女性起業支援事業	510万2千円	令和2年度から令和3年度まで	若者・女性起業支援事業に係る補助金交付のため

2 変更

事項	限度額		備考
	補正前	補正後	
土地利用制度適正化推進業務委託	744万円	762万1千円	業務内容の見直しのため

【参考】

令和元年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算（第5号）	42,274,000	1,042,000	43,316,000
安曇野市国民健康保険特別会計 補正予算（第2号）	10,597,749	△184,027	10,413,722
安曇野市後期高齢者医療特別会計 補正予算（第1号）	1,167,317	48,886	1,216,203
安曇野市介護保険特別会計 補正予算（第4号）	9,570,417	17,818	9,588,235
安曇野市上川手山林財産区特別会計 補正予算（第2号）	2,368	1	2,369
安曇野市北の沢山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	2,826		2,826
安曇野市有明山林財産区特別会計 補正予算（第2号）	3,888	3	3,891
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計 補正予算（第2号）	1,246	1	1,247
安曇野市穂高山林財産区特別会計 補正予算（第2号）	1,308	1	1,309
安曇野市産業団地造成事業特別会計 補正予算（第3号）	23,530	△3,900	19,630
安曇野市観光宿泊施設特別会計 補正予算（第2号）	12,303	△2,984	9,319
特別会計合計	21,382,952	△124,201	21,258,751
総 計（一般会計+特別会計）	63,656,952	917,799	64,574,751

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計 補正予算（第2号）	収益的収入	2,335,142	△15,291	2,319,851
	収益的支出	1,887,465	△20,713	1,866,752
	資本的収入	513,194	△48,000	465,194
	資本的支出	2,035,220	△17,072	2,018,148
安曇野市下水道事業会計 補正予算（第1号）	収益的収入	4,304,266	50,610	4,354,876
	収益的支出	3,768,696	△14,009	3,754,687
	資本的収入	797,227	△83,561	713,666
	資本的支出	2,480,707	△89,142	2,391,565

令和元年度一般会計補正予算（専決第1号）の概要等

1 令和元年度一般会計補正予算（専決第1号）の編成方針等

○ 基本事項

令和元年度の最終補正とし、決算を踏まえた歳入の整理、及び歳出不執行額の整理を中心として行うものとする。

2 補正予算見積状況

補正予算額	△9億9,700万円
補正前の予算額	433億1,600万円
補正後の予算額	423億1,900万円

3 歳入の主な増額・減額項目

予算書P	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	地方譲与税			
12	地方揮発油譲与税	△3,664万4千円	一般財源	交付実績による
12	自動車重量譲与税	1,412万9千円	一般財源	交付実績による
	利子割交付金			
12	利子割交付金	△899万7千円	一般財源	交付実績による
	配当割交付金			
12	配当割交付金	48万4千円	一般財源	交付実績による
	株式等譲渡所得割交付金			
12	株式等譲渡所得割交付金	593万円	一般財源	交付実績による
	地方消費税交付金			
12	地方消費税交付金	△3,772万3千円	一般財源	交付実績による
	ゴルフ場利用税交付金			
14	ゴルフ場利用税交付金	111万円	一般財源	交付実績による
	自動車取得税交付金			
14	自動車取得税交付金	1,403万9千円	一般財源	交付実績による
	環境性能割交付金			
14	環境性能割交付金	△348万3千円	一般財源	交付実績による
	地方特例交付金			
14	子ども・子育て支援臨時交付金	2億3,104万1千円	一般財源	交付実績による
	地方交付税			
14	特別交付税	4,715万2千円	一般財源	交付実績による
	交通安全対策特別交付金			

予算書P	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
16	交通安全対策特別交付金	△71万8千円	一般財源	交付実績による
分担金及び負担金				
16	保育児童保育料	615万3千円	・認定こども園管理費 ・保育政策費	保育料収入の実績による
16	耕地災害復旧事業負担金	△109万8千円	耕地災害復旧事業	災害復旧事業費の確定による
使用料及び手数料				
16	都市公園使用料	216万3千円	都市公園等維持管理事業	都市公園使用実績による
18	戸籍住民基本台帳手数料	△271万7千円	戸籍住民基本台帳管理費	証明書交付実績による
18	動物死骸処理手数料	△476万5千円	清掃費	処理実績による
18	夜間急病センター手数料	△302万7千円	夜間急病センター運営費	診療手数料実績による
国庫支出金				
18	子どものための教育保育給付費負担金	815万3千円	保育政策費	事業実績による
18	障害児入所給付費等負担金	△1,007万円	障がい者支援事業	事業実績による
18	生活保護費国庫負担金	△5,408万7千円	生活保護総務費	事業実績による
18	児童手当国庫負担金	△864万7千円	児童福祉総務費	交付実績による
20	個人番号カード交付事業費補助金	602万6千円	戸籍住民基本台帳管理費	個人番号カード交付増による
20	プレミアム付商品券事務費補助金	△1,000万円	社会福祉総務費	事業実績による

予算書P	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
20	プレミアム付商品券事業費補助金	△4,476万円	社会福祉総務費	事業実績による
20	学校施設環境改善交付金	1,179万1千円	・小学校施設改修事業 ・中学校冷房設備等整備事業	中学校冷房設備等整備事業など、事業費確定による
県支出金				
22	子どものための教育保育給付費負担金	△1,019万6千円	保育政策費	事業実績による
22	自立支援給付費負担金	△1,189万2千円	障がい者支援事業	事業実績による
22	福祉医療給付事業補助金	△1,822万円	福祉医療費給付事業	事業実績による
24	農地利用集積事業補助金	△466万3千円	担い手支援事業	管理機構の活用実績などによる
24	農業次世代投資資金(経営開始型)	△971万6千円	後継者対策事業	交付対象者減による
24	経営体育成支援事業補助金	△1,038万5千円	担い手支援事業	交付対象者(国の採択)減による
寄附金				
26	ふるさと寄附金	4,807万7千円	・寄附採納事務 ・ホストタウン推進事業	寄附金額の実績による
繰入金				
26	財政調整基金繰入金	△297万4千円	一般財源	財源調整による
26	公共施設整備基金繰入金	△6億8千万円	・公立認定こども園整備費 ・道路橋梁維持費 ・河川維持費 ・市道新設改良事業 ・小学校施設改修事業	一般財源による財源振替
26	堀金観光開発基金繰入金	△513万4千円	ほりで一ゆ～運営事業	充当先事業費の確定による
26	地域振興基金繰入金	△402万9千円	・協働のまちづくり推進事業 ・区等地域力向上事業	充当先事業費の確定による

予算書P	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
26	安曇野の里基金繰入金	132 万円	安曇野の里運営事業	充当先事業費の確定による
26	三郷農林漁業体験実習館基金繰入金	△98 万 3 千円	ファインビュー室山運営事業	充当先事業費の確定による
28	ふるさと寄附基金繰入金	△5,966 万 1 千円	・中学校冷房設備等整備事業 ・穂高幼稚園運営費	充当先事業費の確定による
諸収入				
30	総合福祉センター管理費等徴収金	△890 万 2 千円	老人福祉施設管理事業	施設運営管理費の実績による
30	ほりで一ゆ～施設利用料	△5,653 万円	ほりで一ゆ～運営事業	新型コロナウイルス感染症の影響による施設収益の減
30	農林漁業体験実習館利用料	△2,061 万円	ファインビュー室山運営事業	新型コロナウイルス感染症の影響による施設収益の減
30	安曇野の里施設利用料	△397 万円	安曇野の里運営事業	新型コロナウイルス感染症の影響による施設収益の減
市債				
32	旧合併特例事業債	△1 億 3,800 万円	財産管理費	上川手書庫及び豊科解放館の解体事業費の確定による △400 万円
			公立認定こども園整備費	公立認定こども園（明科南、つつみ、穂高）整備費等の確定による △2,240 万円
			水道事業	豊科・明科地域整備事業費（令和元年度分）の確定による △950 万円
			・市道新設改良事業 ・社会資本整備総合交付金事業	事業費の確定による △1 億 210 万円
32	施設整備事業債	△4,020 万円	公立認定こども園整備費	公立認定こども園（明科南、上川手、穂高）整備費等の確定による
32	公共事業等債	△4,630 万円	都市再生整備計画事業（都市整備分）	都市再生整備計画事業費（明科駅周辺）の確定による

予算書P	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
32	防災対策事業債	△150 万円	非常備消防費	消防車両更新に係る事業費（令和元年度分）の確定による
32	防災・減災、国土強靱化緊急対策事業債	△160 万円	小学校施設改修事業	小学校長寿命化事業費の確定による

4 歳出の主な増額・減額項目

予算書ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	議会費		
34	議会費	△985 万 3 千円	議会録調製業務委託費等の確定による
	総務費		
36	寄附採納事務	3,754 万 3 千円	ふるさと寄附基金積立金の確定などによる
36	職員管理	△898 万 5 千円	職員諸手当の確定などによる
36	本庁舎管理費	△668 万 1 千円	光熱水費等の年間経費確定による
40	税務総務費	△480 万 4 千円	課税業務等、年間執行額確定による
42	戸籍住民基本台帳管理費	528 万 4 千円	個人番号カードの交付枚数増に伴う事業費確定による
	民生費		
48	社会福祉総務費	△6,341 万 7 千円	プレミアム付商品券発行事業費の確定などによる
48	障がい者支援事業	△7,010 万円	介護給付費等給付実績による
52	介護保険対策費	△8,064 万 7 千円	介護保険特別会計繰出金等の確定による
56	公立認定こども園整備費	△2,262 万円	認定こども園（明科南、つつみ、上川手、穂高）整備費などの確定による
56	保育政策費	△2,590 万 3 千円	子どものための教育・保育給付費負担金額の確定などによる

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
58	生活保護総務費	△3,857万6千円	生活保護扶助費の実績による
衛生費			
62	予防接種事業	△1,600万円	医務委託（予防接種）実績による
62	妊婦・乳児一般健康診査事業	△730万円	健康診査料の実績による
66	清掃費	△940万6千円	資源物収集運搬等の実績による
68	水道事業	△950万円	豊科・明科地域整備事業費（令和元年度分）の確定による
農林水産業費			
70	農業総務費	△819万2千円	営農企画員賃金等、不用額の減額による
72	ファインビュー室山運営事業	△2,159万1千円	農林漁業体験実習館利用料減額に伴う基金積立金の減など
72	ほりで一ゆ〜運営事業	△6,170万1千円	ほりで一ゆ〜施設利用料減額に伴う基金積立金の減など
74	担い手支援事業	△1,504万7千円	経営体育成支援事業交付対象者（国の採択）の実績及び農地集積事業の管理機構集積協力金の実績による
74	後継者対策事業	△1,087万5千円	農業次世代人材投資資金の交付実績などによる
76	松くい虫被害対策事業	△643万5千円	松くい虫防除対策補助金の交付実績による
商工費			
80	工業振興事業	△1,442万2千円	企業等支援助成事業の交付実績などによる
80	安曇野ブランド情報発信事業	△199万5千円	安曇野市海外プロモーション協議会への補助金額確定による
土木費			
84	除雪対策費	△1,922万円	除雪実施実績による

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
86	市道新設改良事業	△1億529万円	物件移転補償等、工事实績による
88	土地利用調整事業	△770万円	拠点地域等住宅購入費助成の申請件数の確定による
88	都市再生整備計画事業(都市整備分)	△5,089万5千円	都市再生整備計画事業(明科駅周辺)の実績による
教育費			
94	学校バス運行事業	△1,279万円	スクールバス等、運行业務実績による
96	小学校総務管理費	△1,079万6千円	市内小学校における光熱水費など、管理実績による
98	中学校総務管理費	△738万6千円	市内中学校における光熱水費など、管理実績による
98	中学校教育振興費	△804万4千円	新型コロナウイルス感染症の影響によりホームステイ交流派遣業務が中止となったなど
98	中学校冷房設備等整備事業	△4,616万円	中学校冷房設備工事の入札差金
100	交流学習センター等管理費	△776万1千円	市内交流学習センターにおける光熱水費など、管理実績による
災害復旧費			
106	耕地災害復旧事業	△150万2千円	台風19号被害における耕地災害復旧費の確定による
公債費			
108	長期借入金償還元金	△5,426万2千円	償還元金の確定による
108	長期借入金償還利子	△1,957万4千円	償還利子の確定による

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	参考		
110	一般職員人件費 (給料・手当・共済)	△1,484万5千円	給料 (△325万6千円) 手当 (△1,028万8千円) 共済 (△130万1千円)

【参考】

令和元年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算（専決第1号）	43,316,000	△997,000	42,319,000
安曇野市国民健康保険特別会計 補正予算（専決第1号）	10,413,722	△226,293	10,187,429
安曇野市後期高齢者医療特別会計 補正予算（専決第1号）	1,216,203	13,570	1,229,773
安曇野市介護保険特別会計 補正予算（専決第1号）	9,588,235	△250,769	9,337,466
安曇野市上川手山林財産区特別会計 補正予算（専決第1号）	2,369	459	2,828
安曇野市北の沢山林財産区特別会計 補正予算	2,826		2,826
安曇野市有明山林財産区特別会計 補正予算	3,891		3,891
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計 補正予算	1,247		1,247
安曇野市穂高山林財産区特別会計 補正予算	1,309		1,309
安曇野市産業団地造成事業特別会計 補正予算（専決第1号）	19,630	△222	19,408
安曇野市有明荘特別会計 補正予算（専決第1号）	9,319	△1,288	8,031
特別会計合計	21,258,751	△464,543	20,794,208
総 計（一般会計+特別会計）	64,574,751	△1,461,543	63,113,208

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計 補正予算	収益的収入	2,319,851		2,319,851
	収益的支出	1,866,752		1,866,752
	資本的収入	465,194		465,194
	資本的支出	2,018,148		2,018,148
安曇野市下水道事業会計 補正予算	収益的収入	4,354,876		4,354,876
	収益的支出	3,754,687		3,754,687
	資本的収入	713,666		713,666
	資本的支出	2,391,565		2,391,565

4 令和元年度予算の執行状況（令和2年3月末現在）

令和元年度予算の令和2年3月末時点の予算執行状況は次のとおりです。

なお、予算現額は、繰越明許費、事故繰越しを含む金額となりますので、最終予算額と一致しない場合があります。

各会計予算の執行

（単位：千円、％）

会計名称	予算現額	歳 入		歳 出		歳入歳出 差引残額	歳出執行率
		調定額	収入累計	支出累計	予算残額		
一般会計	43,561,978	43,523,536	36,148,069	36,239,516	7,322,462	△ 91,447	83.2
国民健康保険	10,187,429	10,504,809	9,374,992	9,503,748	683,681	△ 128,756	93.3
後期高齢者医療	1,229,773	1,240,641	1,204,786	1,179,244	50,529	25,542	95.9
介護保険	9,337,466	9,327,679	8,898,837	8,313,128	1,024,338	585,709	89.0
上川手山林財産区	2,828	2,831	2,826	587	2,241	2,239	20.8
北の沢山林財産区	2,826	2,856	2,826	168	2,658	2,658	5.9
有明山林財産区	3,891	3,886	3,886	123	3,768	3,763	3.2
富士尾沢山林財産区	1,247	1,243	1,243	208	1,039	1,035	16.7
穂高山林財産区	1,309	1,298	1,298	86	1,223	1,212	6.6
産業団地造成事業	19,408	19,408	19,630	19,280	128	350	99.3
有明荘	8,031	8,031	8,628	7,985	46	643	99.9
	64,356,186	64,636,218	55,667,021	55,264,073	9,092,113	402,948	85.9

一般会計歳入予算の執行

(単位：千円、%)

款 名 称	予算現額 A	調定額 B	収入累計 C	予算比較	調定比較	収入率
				E (A-C)	D (B-C)	(C ÷ B) × 100
0 1 市税	12,219,946	12,847,758	11,798,517	421,429	1,049,241	91.8
0 2 地方譲与税	490,750	490,750	490,750	0	0	100.0
0 3 利子割交付金	11,003	11,003	11,003	0	0	100.0
0 4 配当割交付金	48,484	48,484	48,484	0	0	100.0
0 5 株式等譲渡割交付金	27,930	27,930	27,930	0	0	100.0
0 6 地方消費税交付金	1,712,277	1,712,277	1,712,277	0	0	100.0
0 7 ゴルフ場利用税交付金	37,110	37,110	37,110	0	0	100.0
0 8 自動車取得税交付金	68,039	68,039	68,039	0	0	100.0
0 9 環境性能割交付金	16,517	16,517	16,517	0	0	100.0
1 0 地方特例交付金	423,216	423,216	423,216	0	0	100.0
1 1 地方交付税	11,035,133	11,035,133	11,035,133	0	0	100.0
1 2 交通安全対策交付金	12,882	12,882	12,882	0	0	100.0
1 3 分担金及び負担金	475,815	484,415	446,772	29,043	37,643	92.2
1 4 使用料及び手数料	331,332	340,794	320,795	10,537	19,999	94.1
1 5 国庫支出金	4,382,597	4,211,472	3,070,864	1,311,733	1,140,608	72.9
1 6 県支出金	2,227,494	2,255,266	1,493,450	734,044	761,816	66.2
1 7 財産収入	79,926	86,667	84,418	△ 4,492	2,249	97.4
1 8 寄附金	985,123	985,124	985,124	△ 1	0	100.0
1 9 繰入金	2,071,045	1,367,668	584,545	1,486,500	783,123	42.7
2 0 繰越金	770,799	770,800	770,800	△ 1	0	100.0
2 1 諸収入	1,350,069	1,582,568	1,333,951	16,118	248,617	84.3
2 2 市債	4,784,491	4,708,091	1,375,491	3,409,000	3,332,600	29.2
3 0 一時借入金	0	0	0	0	0	-
3 1 歳計外現金繰替運用	0	0	0	0	0	-
	43,561,978	43,523,964	36,148,068	7,413,910	7,375,896	83.1

一般会計歳出予算の執行

(単位：千円、%)

款 名 称	予算現額 A	支出累計 B	予算比較	執行率
			C (A-B)	(B ÷ A) × 100
0 1 議会費	239,247	233,804	5,443	97.7
0 2 総務費	5,543,688	3,809,500	1,734,188	68.7
0 3 民生費	13,223,979	11,932,567	1,291,412	90.2
0 4 衛生費	3,878,253	2,010,452	1,867,801	51.8
0 5 労働費	61,816	57,016	4,800	92.2
0 6 農林水産業費	1,644,384	1,371,065	273,319	83.4
0 7 商工費	1,625,248	1,555,772	69,476	95.7
0 8 土木費	5,616,909	4,752,279	864,630	84.6
0 9 消防費	1,474,259	1,430,050	44,209	97.0
1 0 教育費	4,903,194	3,764,573	1,138,621	76.8
1 1 災害復旧費	67,006	45,578	21,428	68.0
1 2 公債費	5,277,038	5,276,860	178	100.0
1 3 予備費	6,957	0	6,957	0.0
	43,561,978	36,239,516	7,322,462	83.2

5 基金の状況

(単位：千円)

区 分	平成30年度	令和元年度（見込額）				
	年度末 現在高	積立額	積立利子	積立額計	繰入予算	年度末 現在高
財政調整基金	5,357,148	360,000	13,731	373,731	406,196	5,324,683
減債基金	1,513,168		3,835	3,835		1,517,003
公共施設整備基金	2,392,817	160,000	6,064	166,064	20,000	2,538,881
安曇野市本庁舎等建設事業基金	0					0
地域振興基金	2,853,545		7,231	7,231	107,629	2,753,147
分収造林事業基金	2,494	1,772	6	1,778		4,272
旧穂高町外1ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金	116,640	2,321	296	2,617	5,000	114,257
旧穂高町外1ヶ町浅川山林組合に関する基金	2,944	2,410	7	2,417		5,361
人材育成基金	0					0
国際交流基金	17,582				580	17,002
福祉基金	297,576		754	754		298,330
ふるさと水と土保全基金	41,593					41,593
ふれあい体験館基金	0					0
豊科安曇野の里基金	32	1,320		1,320	1,320	32
天蚕振興基金	3,807		10	10		3,817
三郷農林漁業体験実習館基金	30,906		78	78	17,563	13,421
堀金産地形成促進施設基金	5,461	2,340	14	2,354	965	6,850
堀金観光開発基金	196,886		499	499	37,001	160,384
安曇野市森林環境譲与税基金		8,265		8,265		8,265
安曇野市山岳環境整備基金	91,097		231	231	2,477	88,851
三郷図書館建設事業基金	0			0		0
青少年健全育成基金	0					0
青少年育成基金	2,032		5	5	2,000	37
青少年交流事業支援基金	6,426		16	16		6,442
美術品取得及び特別展開催基金	17,941		45	45		17,986
名誉市民田淵行男顕彰基金	1,713		4	4		1,717
入学準備金貸付基金	93,814	3,619	238	3,857	2,080	95,591
公式スポーツ施設整備基金	300,864		762	762		301,626
ちくに生きものみらい基金	52,992		134	134	994	52,132
霊園基金	131,119	20,376	332	20,708	5,774	146,053
ふるさとづくり基金	1,549		4	4	1,200	353
ふるさと寄付金積立金	1,892,252	884,161	4,795	888,956	756,683	2,024,525
西穂高会館維持運営基金	2,793			0	2,793	0
土地開発基金	251,529		503	503		252,032
(うち現金)	198,620		503	503		199,123
(うち土地)	52,909					52,909
国民健康保険支払準備基金	782,272	47,000	1,476	48,476	330,000	500,748
上川手財産区基金	10,891		28	28	418	10,501
北の沢山林財産区基金	9,717	1,670	25	1,695		11,412
有明山林財産区基金	22,310	2,862	56	2,918		25,228
富士尾沢山林財産区基金	2,776	321	7	328		3,104
穂高山林財産区基金	1,977	469	5	474		2,451
介護保険支払準備基金	518,821	126,834	1,315	128,149		646,970
農業集落排水事業建設基金	0					0
公共下水道建設基金	0					0
基金合計	17,027,484	1,625,740	42,506	1,668,246	1,700,673	16,995,057

※端数を調整しています

6 地方債の状況

一般会計

(単位：千円)

	前々年度末 現在高	前年度末 現在高見込額	増減内訳		令和元年度末 現在高見込
			借入額	元金償還額	
1 普通債	25,052,629	25,368,951	3,671,800	3,761,053	25,279,698
1 総務	7,432,721	7,418,414	26,200	622,710	6,821,904
2 民生	3,277,261	3,784,686	848,100	417,594	4,215,192
3 衛生	2,619,811	2,599,347	1,589,300	1,091,238	3,097,409
4 労働					
5 農林	958,735	900,215	21,000	206,203	715,012
6 商工	1,025,120	1,133,890		94,850	1,039,040
7 土木	2,399,547	2,870,460	1,001,800	406,747	3,465,513
8 消防	506,230	397,950	14,500	99,486	312,964
9 教育	6,833,204	6,263,989	170,900	822,225	5,612,664
2 災害復旧債					
1 土木					
2 農林					
3 その他	16,330,102	16,662,782	1,241,191	1,399,605	16,504,368
1 減収補てん債					
2 減税補てん債	351,217	249,101		63,252	185,849
3 臨時税収補てん債					
4 臨時財政対策債	15,978,885	16,413,681	1,241,191	1,336,353	16,318,519
合計	41,382,731	42,031,733	4,912,991	5,160,658	41,784,066

※予算書から抜粋した地方債の見込み額のため、繰越予算等による次年度借入があれば年度末残高は変動します。

上下水道事業の業務状況（令和元年10月1日から令和2年3月31日まで）

1 水道事業の状況

（1）業務の概要

安定した水道水の供給を行うため、計画的な水道施設の整備を進めるとともに適正な維持管理に努めました。令和元年度下半期の給水状況は下記のとおりでした。

月	当 年	前年同月	前年度との比較 %	当 年	前年同月	前年度との比較 %	当 年	前年同月	前年度との比較 %
	給水戸数 戸	給水戸数 戸		給水量 m ³	給水量 m ³		水道料金 (消費税込み) 千円	水道料金 (消費税込み) 千円	
前月末累計	119,963	119,120	0.7	4,773,786	4,878,390	△ 2.1	921,115	940,773	△ 2.1
10月	21,320	21,178	0.7	879,686	910,460	△ 3.4	171,406	177,159	△ 3.2
11月	18,912	18,886	0.1	779,730	779,737	0.0	147,408	147,771	△ 0.2
12月	21,393	21,220	0.8	815,755	819,030	△ 0.4	161,002	161,746	△ 0.5
1月	18,690	18,683	0.0	757,247	768,454	△ 1.5	147,759	145,266	1.7
2月	21,106	20,953	0.7	799,904	812,605	△ 1.6	156,288	159,914	△ 2.3
3月	18,983	18,846	0.7	775,228	775,754	△ 0.1	151,061	146,622	3.0
後期合計	120,404	119,766	0.5	4,807,550	4,866,040	△ 1.2	934,924	938,478	△ 0.4
全期合計	240,367	238,886	0.6	9,581,336	9,744,430	△ 1.7	1,856,039	1,879,251	△ 1.2

※ 月毎の集計時数値。

令和元年度末の業務状況は下記のとおりとなりました。

区 分	令和元年度	平成30年度	増減比較
年度末区域内人口 (人)	97,368	97,581	△ 213
年度末給水人口 (人)	96,417	96,360	57
普及率 %	99.0	99.0	0.0
年間配水量 m ³	11,783,334	11,870,426	△ 87,092
年間給水量 m ³	9,588,482	9,752,174	△ 163,692
一日平均配水量 m ³	32,195	32,522	△ 327
年間有収水量率 %	81.4	82.2	△ 0.8
※供給単価 円	178.49	178.57	△ 0.08
※給水原価 円	154.40	157.63	△ 3.23

※ 税抜きによる算出額。

(2) 経理の状況

水道事業の損益計算書（下半期分）は次のとおりです。

損 益 計 算 書
(令和元年10月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：円)

営業収益	1,000,117,754
給 水 収 益	858,327,342
受 託 工 事 収 益	4,001,043
そ の 他 営 業 収 益	137,789,369
営業外収益	143,462,947
受 取 利 息 及 び 配 当 金	2,262,171
雑 収 益	252,844
長 期 前 受 金 戻 入	140,947,932
特別利益	69,543
固 定 資 産 売 却 益	0
そ の 他 特 別 利 益	69,543
収 入 計	1,143,650,244

(単位：円)

営業費用	903,059,264
原 水 及 び 浄 水 費	109,055,578
配 水 及 び 給 水 費	157,439,960
受 託 工 事 費	3,355,700
総 係 費	97,212,690
減 価 償 却 費	523,464,054
資 産 減 耗 費	12,531,282
そ の 他 営 業 費 用	0
営業外費用	66,530,497
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	64,954,124
雑 支 出	939,498
過 年 度 損 益 修 正 損	636,875
特別損失	0
過 年 度 損 益 修 正 損	0
費 用 計	969,589,761

※各区分の数値は税抜き額

当年度純利益（下半期）	174,060,483 円
当年度純利益（上半期）	210,419,180 円

【参考】以下通期分

当年度純利益	384,479,663 円
前年度繰越利益剰余金	920,694 円
その他未処分利益剰余金変動額	480,000,000 円
当年度未処分利益剰余金	865,400,357 円

2 下水道事業の状況

(1) 業務の概要

下水道処理を適正に行うため、計画的な整備を行うとともに下水道接続の促進に努めました。
令和元年度下半期の汚水量の状況は下記のとおりでした。

月	当 年	前年同月	前年度との比較 %	当 年	前年同月	前年度との比較 %	当 年	前年同月	前年度との比較 %
	排水戸数 戸	排水戸数 戸		汚水量 m ³	汚水量 m ³		下水道使用料 (消費税込み) 千円	下水道使用料 (消費税込み) 千円	
前月末累計	91,066	89,387	1.9	4,073,361	4,092,224	△ 0.5	858,764	859,964	△ 0.1
10月	15,674	15,560	0.7	758,874	775,846	△ 2.2	160,520	163,397	△ 1.8
11月	14,940	14,633	2.1	685,243	682,483	0.4	141,986	141,289	0.5
12月	15,768	15,575	1.2	738,566	724,062	2.0	157,062	153,863	2.1
1月	14,857	14,553	2.1	642,690	635,829	1.1	134,263	132,629	1.2
2月	15,594	15,451	0.9	718,668	723,192	△ 0.6	155,767	153,393	1.5
3月	15,117	14,712	2.8	651,499	642,046	1.5	139,113	134,179	3.7
後期合計	91,950	90,484	1.6	4,195,540	4,183,458	0.3	888,711	878,750	1.1
全期合計	183,016	179,871	1.7	8,268,901	8,275,682	△ 0.1	1,747,475	1,738,714	0.5

※ 月毎の集計時数値。

令和元年度末の業務状況は下記のとおりとなりました。

区 分	令和元年度	平成30年度	増減比較
年度末行政区域内人口(人)	97,368	97,581	△ 213
年度末処理区域内人口(人)	89,610	89,648	△ 38
年度末水洗化人口 (人)	76,411	75,865	546
普及率 %	92.0	91.9	0.1
年間有収水量 m ³	8,269,208	8,282,785	△ 13,577
水洗化率 %	85.3	84.6	0.7
施設利用率 %	41.8	41.1	0.7
※使用料単価 (円/m ³)	195.07	194.55	0.52
※汚水処理原価 (円/m ³)	198.05	197.89	0.16

※ 税抜きによる算出額。

(2) 経理の状況

下水道事業の損益計算書（下半期分）は次のとおりです。

損 益 計 算 書
(令和元年10月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：円)

(単位：円)

営業収益	837,946,685
下水道使用料	817,883,210
他会計負担金	5,241,240
受託工事収益	2,063,050
その他営業収益	12,759,185
営業外収益	1,015,727,235
他会計負担金	478,368,000
長期前受金戻入	453,510,038
雑収益	83,819,397
補助金	29,800
収入計	1,853,673,920

営業費用	1,725,009,548
管きよ費	616,033,713
処理場費	26,328,451
浄化槽費	1,778,958
農業集落排水費	29,199,459
受託工事費	4,855,000
総係費	87,580,610
減価償却費	958,258,696
資産減耗費	974,661
営業外費用	295,921,516
支払利息及び企業債取扱諸費	289,679,608
雑支出	6,239,476
過年度損益修正損	2,432
費用計	2,020,931,064

※各区分の数値は税抜き額

当年度純損失（下半期分）	167,257,144 円
当年度純利益（上半期分）	877,164,839 円

【参考】以下通期分

当年度純利益	709,907,695 円
前年度繰越利益剰余金	167,329 円
その他未処分利益剰余金変動額	743,400,000 円
当年度未処分利益剰余金	1,453,475,024 円

令和2年度安曇野市上下水道事業 予算概要

I 水道事業予算概要

1 業務量 (予算書 2ページ)

業務の予定量	令和2年度	令和元年度	増減	増減率
給水戸数(戸)	40,100	40,100	0	0.0%
年間総給水量(千m ³)	9,600	9,605	△5	△0.1%
一日平均給水量(m ³)	26,301	26,315	△14	△0.1%

人口減少や節水型社会の進展に伴い給水人口と給水量は減少傾向にある一方で、世帯数の増加に伴い給水戸数は増加傾向にあるため、給水戸数の予定業務量は40,100戸に据え置き、年間総給水量は960万m³を見込みます。

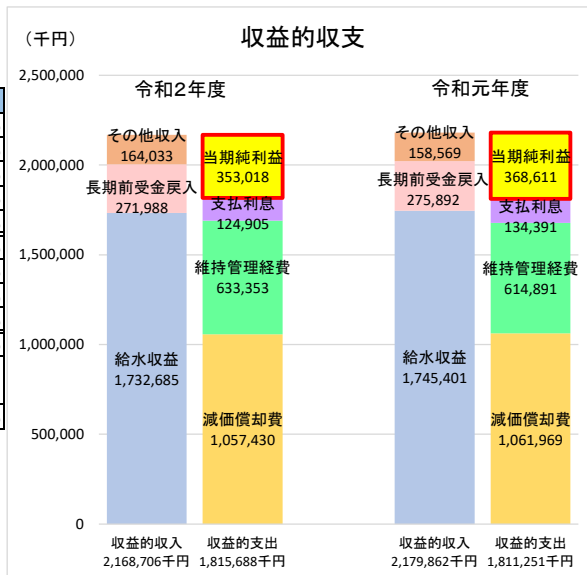
2 収益的収支(予定損益計算書) (予算書 2ページ、4ページ、16ページ、24~31ページ)

水道水を作り、みなさまへお届けするための収支状況です。
水道水がどのくらい売れて、その水道水を供給するまでにどのくらいの費用がかかっているのかを表します。

(千円) ※消費税抜き

収益的収支	令和2年度	令和元年度	増減	増減率
営業収益	1,894,646	1,901,952	△7,306	△0.4%
うち給水収益	1,732,685	1,745,401	△12,716	△0.7%
営業外収益	274,060	277,910	△3,850	△1.4%
うち長期前受金戻入	271,988	275,892	△3,904	△1.4%
収益計①	2,168,706	2,179,862	△11,156	△0.5%
営業費用	1,685,085	1,671,170	13,915	0.8%
うち減価償却費	1,057,430	1,061,969	△4,539	△0.4%
営業外費用	130,603	140,081	△9,478	△6.8%
費用計②	1,815,688	1,811,251	4,437	0.2%
経常損益①-②	353,018	368,611	△15,593	△4.2%
特別損益 (特別利益-特別損失)	0	0	0	-
純損益(当期純利益)	353,018	368,611	△15,593	△4.2%

収益は21億6,870万6千円で、主に給水収益の減少のため、1,115万6千円の減額を見込みます。
費用は18億1,568万8千円で、減価償却費や支払利息が減少しますが、新規に水源等老朽化診断や濁水対策事業等を実施するなど維持管理経費が増加することから、443万7千円の増額を見込みます。
純損益は1,559万3千円減少し、3億5,301万8千円の黒字を見込みます。



3 資本的収支 (予算書 2ページ、5ページ、32~35ページ)

水道施設の整備を行うための収支状況です。

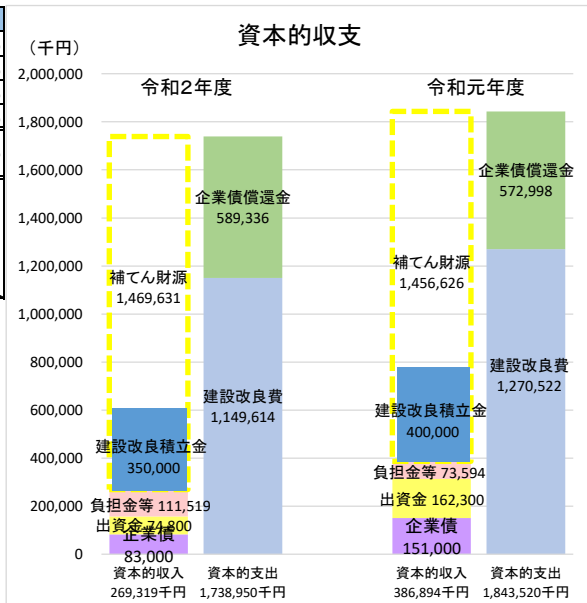
(千円) ※消費税込み

資本的収支	令和2年度	令和元年度	増減	増減率
資本的収入(a)	269,319	386,894	△117,575	△30.4%
うち一般会計出資金	74,800	162,300	△87,500	△53.9%
資本的支出(b)	1,738,950	1,843,520	△104,570	△5.7%
うち企業債償還金	589,336	572,998	16,338	2.9%
資本的収支不足額(a)-(b)	△1,469,631	△1,456,626	△13,005	0.9%
上記補てん財源				
消費税資本的収支調整額	94,232	87,892		
損益勘定留保資金(※1)	1,025,399	968,734		
建設改良積立金	350,000	400,000		

令和2年度も主要管路整備導・配水管布設替工事及び豊科・明科地域整備事業を重点施策として実施しますが、建設改良費が減少するため企業債や一般会計出資金が減少し、資本的収入は2億6,931万9千円で、資本的支出は17億3,895万円を見込みます。

資本的収支不足額14億6,963万1千円は、損益勘定留保資金10億2,539万9千円、建設改良積立金3億5,000万円の取り崩しなどで補てんします。

(※1) 損益勘定留保資金
施設の減価償却費など現金の支出を必要としない企業内部で留保される資金

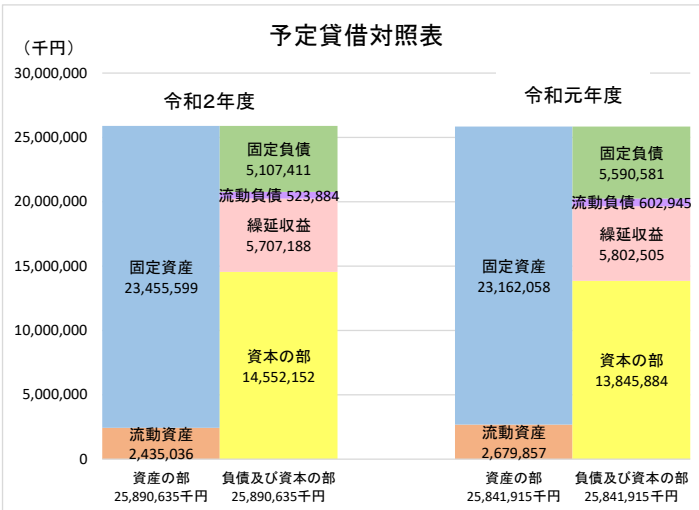


4 予定貸借対照表 (予算書 18~19ページ)

財政状態を表し、保有している財産の状況や、抱えている借入金の状況を明らかにしています。
(千円)

	令和2年度	令和元年度	増減
資産	25,890,635	25,841,915	48,720
固定資産	23,455,599	23,162,058	293,541
流動資産	2,435,036	2,679,857	△ 244,821
うち現金	2,395,333	2,640,580	△ 245,247
負債	11,338,483	11,996,031	△ 657,548
固定負債	5,107,411	5,590,581	△ 483,170
うち企業債	5,107,411	5,590,581	△ 483,170
流動負債	523,884	602,945	△ 79,061
うち企業債	511,908	591,001	△ 79,093
繰延収益	5,707,188	5,802,505	△ 95,317
資本	14,552,152	13,845,884	706,268
資本金	12,257,896	11,031,496	1,226,400
剰余金	2,294,256	2,814,388	△ 520,132
資本剰余金	193,990	194,019	△ 29
利益剰余金	2,100,266	2,620,369	△ 520,103
負債+資本 計	25,890,635	25,841,915	48,720

固定資産残高が増加し、資産の部が4,872万円の増額となる見込みです。また、負債の部では企業債の償還額が借入額を上回るため、企業債残高は56億1931万9千円となり、5億6,226万3千円減少する見込みです。



5 予定キャッシュ・フロー計算書 (予算書 6ページ)

1年間の現金収入や現金支出を「営業活動」「投資活動」「財務活動」の3種類に区分けして、現金の流れを表します。

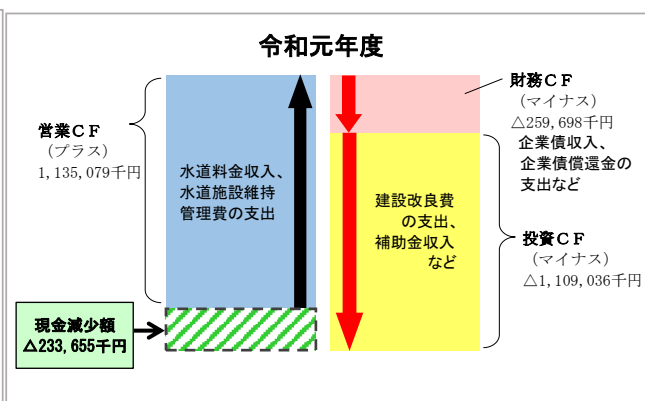
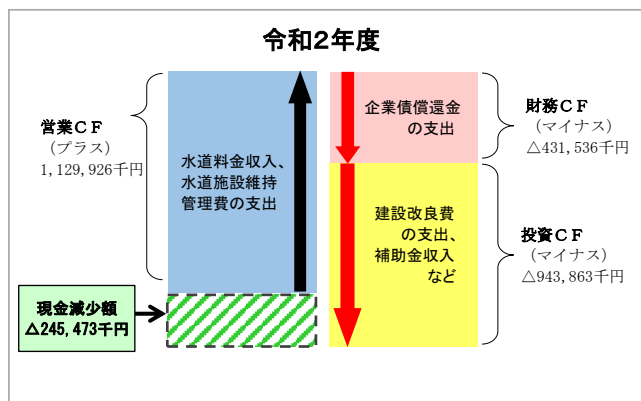
営業CFでは、主たる営業活動に伴う現金の増減を表します。プラスになっていることが原則で、多いほど事業活動が順調と言えます。

投資CFでは、施設の整備や固定資産の取得に伴う現金の増減を表します。通常は、マイナスとなります。

財務CFでは、資金調達や企業債償還に伴う現金の増減を表します。企業債を償還した場合にマイナス、借り入れた場合にはプラスとなります。

	令和2年度	令和元年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,129,926	1,135,079	△ 5,153
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 943,863	△ 1,109,036	165,173
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 431,536	△ 259,698	△ 171,838
現金増減額	△ 245,473	△ 233,655	△ 11,818
現金期首残高	2,640,806	2,874,235	△ 233,429
現金期末残高	2,395,333	2,640,580	△ 245,247

営業活動による現金収入は11億2,992万6千円で、順調な経営状況を見込みます。投資活動による現金支出は9億4,386万3千円で、主要管路整備導・配水管布設替工事、豊科・明科地域整備事業等の建設改良工事費を支出します。財務活動による現金支出は4億3,153万6千円で、企業債の償還金を支出します。現金の期末残高は、23億9,533万3千円となる見込みです。

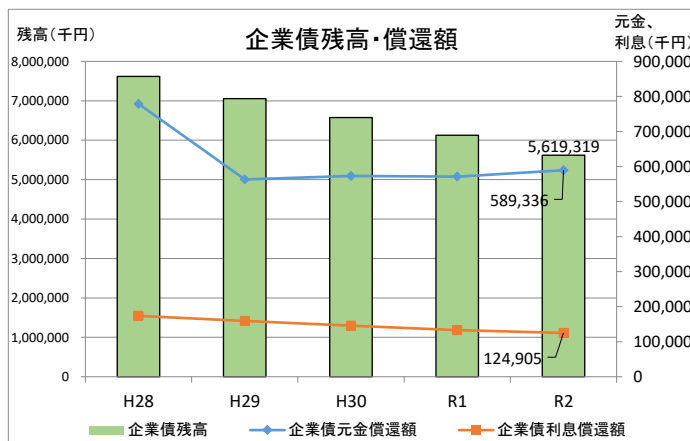


6 企業債

	令和2年度	令和元年度	増減
借入額	83,000	151,000	△ 68,000
企業債元金償還額	589,336	572,998	16,338
企業債利息償還額	124,905	134,391	△ 9,486
企業債年度末残高	5,619,319	6,181,582	△ 562,263

令和2年度は管路の耐震化等の財源を確保するために、8,300万円の企業債を新たに借り入れる予定です。

また、5億8,933万6千円の元金償還を予定しており、年度末の企業債残高は56億1,931万9千円となる見込みです。



II 下水道事業予算概要

1 業務量 (予算書 38ページ)

業務の予定量	令和2年度	令和元年度	増減	増減率
排水戸数(戸)	31,000	31,000	0	0.0%
年間汚水量(千m ³)	8,300	8,588	△ 288	△ 3.4%
一日平均汚水量(m ³)	22,739	23,528	△ 789	△ 3.4%

接続率の向上により排水戸数は増加傾向にあるが、水道事業で給水量が減少傾向にあるため、汚水量の増加率は鈍く、排水戸数の予定業務量は31,000戸に据え置き、年間汚水量は830万m³を見込みます。

2 収益的収支(予定損益計算書) (予算書 38ページ、40ページ、52ページ、60~69ページ)

使われた汚水をきれいにして川に流すまでの収支状況です。
下水道に流された汚水を処理する費用がどのくらいかを表します。

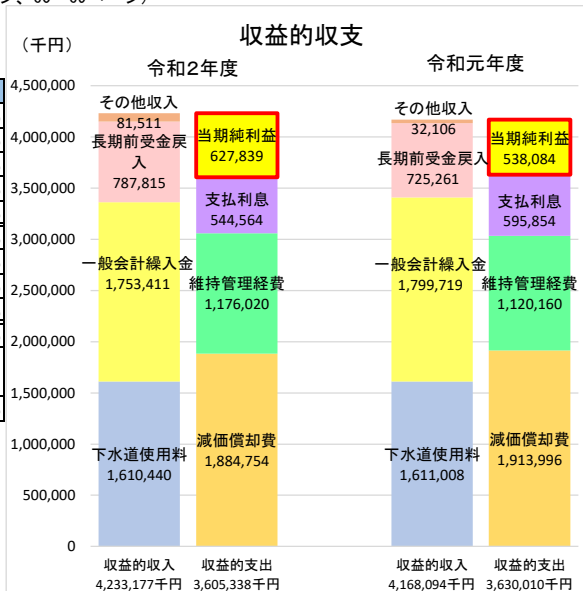
(千円) ※消費税抜き

収益的収支	令和2年度	令和元年度	増減	増減率
営業収益	1,643,497	1,640,981	2,516	0.2%
うち下水道使用料	1,610,440	1,611,008	△ 568	△ 0.1%
営業外収益	2,589,680	2,527,113	62,567	2.5%
うち一般会計繰入金	1,753,411	1,799,719	△ 46,308	△ 2.6%
収益計①	4,233,177	4,168,094	65,083	1.6%
営業費用	3,055,441	3,033,664	21,777	0.7%
うち減価償却費	1,884,754	1,913,996	△ 29,242	△ 1.5%
営業外費用	549,897	596,346	△ 46,449	△ 7.8%
費用計②	3,605,338	3,630,010	△ 24,672	△ 0.7%
経常損益①-②	627,839	538,084	89,755	16.7%
特別損益 (特別利益-特別損失)	0	0	0	-
純損益(当期純利益)	627,839	538,084	89,755	16.7%

収益は42億3,317万7千円で、下水道使用料の減少が見込まれますが、長期前受金戻入と流域下水道維持管理負担金精算金の増加により、6,508万3千円の増額を見込みます。

費用は36億533万8千円で、処理場統廃合接続基本設計やストックマネジメント計画策定業務、流域下水道維持管理負担金などが増加しますが、減価償却費及び支払利息の減少によって、2,467万2千円の減額を見込みます。

純損益は8,975万5千円増加し、6億2,783万9千円の黒字を見込みます。



3 資本的収支 (予算書 38ページ、41ページ、70~73ページ)

下水道施設の整備を行うための収支状況です。

(千円) ※消費税込み

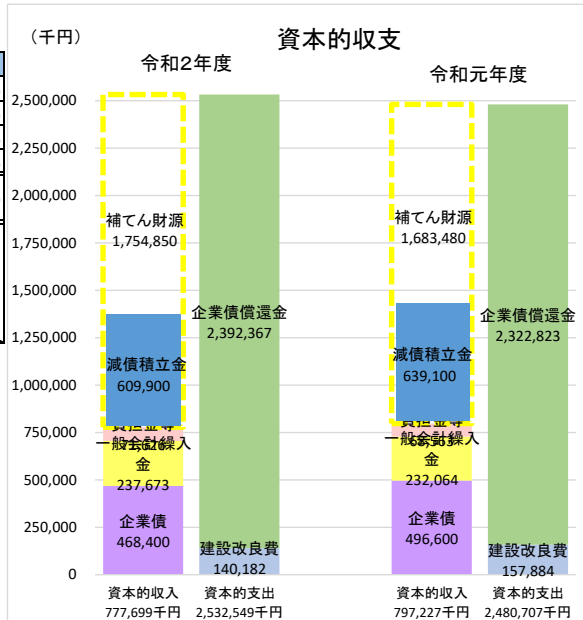
資本的収支	令和2年度	令和元年度	増減	増減率
資本的収入(a)	777,699	797,227	△ 19,528	△ 2.4%
うち資本費平準化債	362,100	363,600	△ 1,500	△ 0.4%
資本的支出(b)	2,532,549	2,480,707	51,842	2.1%
うち企業債償還金	2,392,367	2,322,823	69,544	3.0%
資本的収支不足額 (a)-(b)	△ 1,754,850	△ 1,683,480	△ 71,370	4.2%
上記補てん財源				
消費税資本的収支調整額	0	1,597		
損益勘定留保資金(※1)	1,144,950	1,042,783		
減債積立金	609,900	639,100		

資本的収入は7億7,769万9千円で、資本費平準化債を3億6,210万円借り入れますが、下水道事業債の借入額が減少するため、1,952万8千円の減額を見込みます。

資本的支出は25億3,254万9千円で、建設改良費が減少しますが、企業債償還金の増加により、5,184万2千円の増額を見込みます。

資本的収支不足額17億5,485万円は、損益勘定留保資金11億4,495万円、減債積立金6億990万円の取り崩しで補てんします。

(※1) 損益勘定留保資金
施設の減価償却費など現金の支出を必要としない企業内部で留保される資金



(参考) 一般会計繰入金収入額の比較

(千円)

	令和2年度	令和元年度	増減
一般会計繰入金合計	1,992,889	2,037,125	△ 44,236
収益的収入	1,755,216	1,805,061	△ 49,845
資本的収入	237,673	232,064	5,609

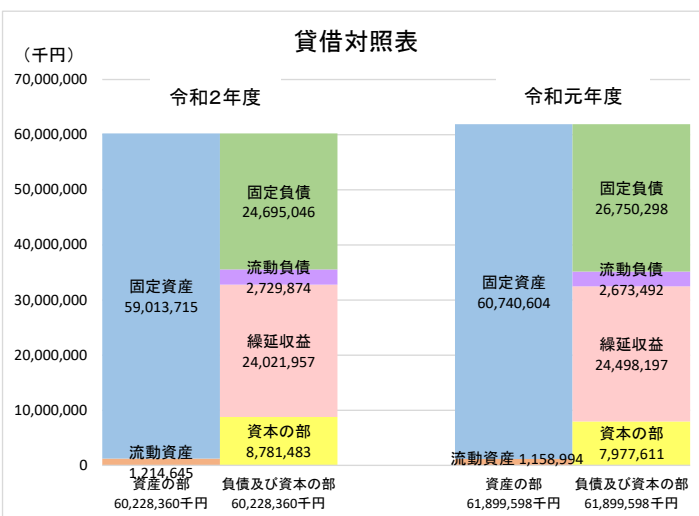
※1,755,216=営業収益1,805+営業外収益1,753,411

4 予定貸借対照表 (予算書 54~55ページ)

財政状態を表し、保有している財産の状況や、抱えている借入金の状況などを明らかにしています。
(千円)

	令和2年度	令和元年度	増減
資産	60,228,360	61,899,598	△ 1,671,238
固定資産	59,013,715	60,740,604	△ 1,726,889
流動資産	1,214,645	1,158,994	55,651
うち現金	1,094,825	1,035,067	59,758
負債	51,446,877	53,921,987	△ 2,475,110
固定負債	24,695,046	26,750,298	△ 2,055,252
うち企業債	24,695,046	26,750,298	△ 2,055,252
流動負債	2,729,874	2,673,492	56,382
うち企業債	2,443,176	2,387,195	55,981
繰延収益	24,021,957	24,498,197	△ 476,240
資本	8,781,483	7,977,611	803,872
資本金	7,146,173	6,402,773	743,400
剰余金	1,635,310	1,574,838	60,472
資本剰余金	397,448	397,447	1
利益剰余金	1,237,862	1,177,391	60,471
負債+資本 計	60,228,360	61,899,598	△ 1,671,238

企業債の償還額が借入額を大きく上回るため、企業債残高は271億3,822万2千円となり、19億9,927万1千円減少する見込みです。また、企業債残高が負債合計の53%近くを占めています。

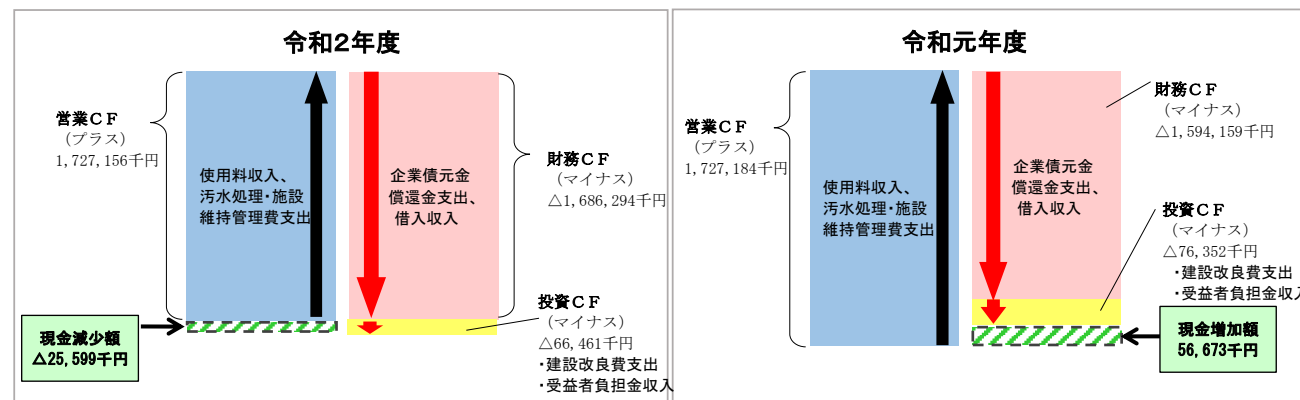


5 予定キャッシュ・フロー計算書 (予算書 42ページ)

1年間の現金収入や現金支出を「営業活動」「投資活動」「財務活動」の3種類に区分けして、現金の流れを表します。
 営業CFでは、主たる営業活動に伴う現金の増減を表します。プラスになっていることが原則で、多いほど事業活動が順調と言えます。
 投資CFでは、施設の整備や固定資産の取得に伴う現金の増減を表します。通常は、マイナスとなります。
 財務CFでは、資金調達や企業債償還に伴う現金の増減を表します。企業債を償還した場合にマイナス、借り入れた場合にはプラスとなります。
(千円)

	令和2年度	令和元年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,727,156	1,727,184	△ 28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 66,461	△ 76,352	9,891
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,686,294	△ 1,594,159	△ 92,135
現金増減額	△ 25,599	56,673	△ 82,272
現金期首残高	1,120,424	978,394	142,030
現金期末残高	1,094,825	1,035,067	59,758

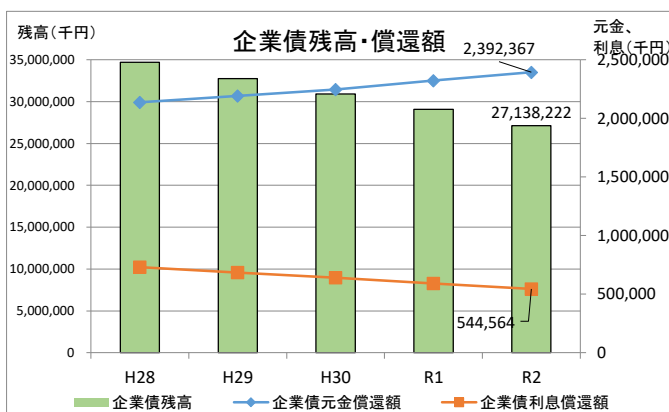
営業活動による現金収入が17億2,715万6千円で、順調な経営状況を見込みます。投資活動による現金支出は6,646万1千円で、犀川安曇野流域下水道事業にかかる負担金等を支出します。財務活動による現金支出は16億8,629万4千円で、企業債の償還金を支出します。現金の期末残高は、10億9,482万5千円となる見込みです。



6 企業債

	令和2年度	令和元年度	増減
借入額	468,400	496,600	△ 28,200
うち資本費平準化債	362,100	363,600	△ 1,500
企業債元金償還額	2,392,367	2,322,823	69,544
企業債利息償還額	544,564	595,854	△ 51,290
企業債年度末残高	27,138,222	29,137,493	△ 1,999,271

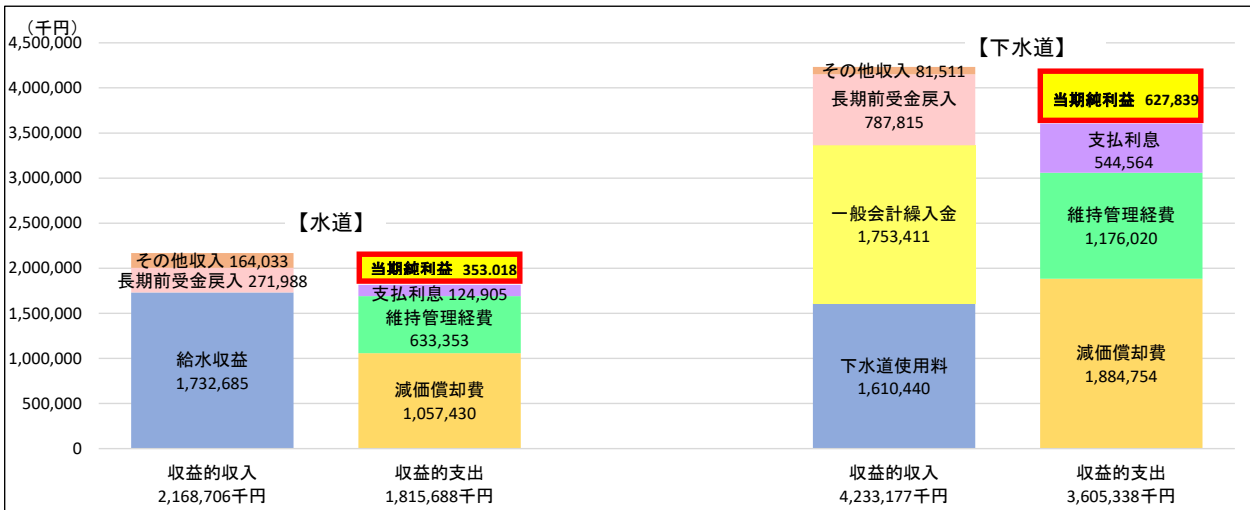
令和2年度は、下水道事業債1億630万円と、資本費平準化債3億6,210万円の借入を予定しています。
 また、23億9,236万7千円の元金償還を予定しており、年度末の企業債残高は271億3,822万2千円となる見込みです。



Ⅲ 水道事業・下水道事業の比較

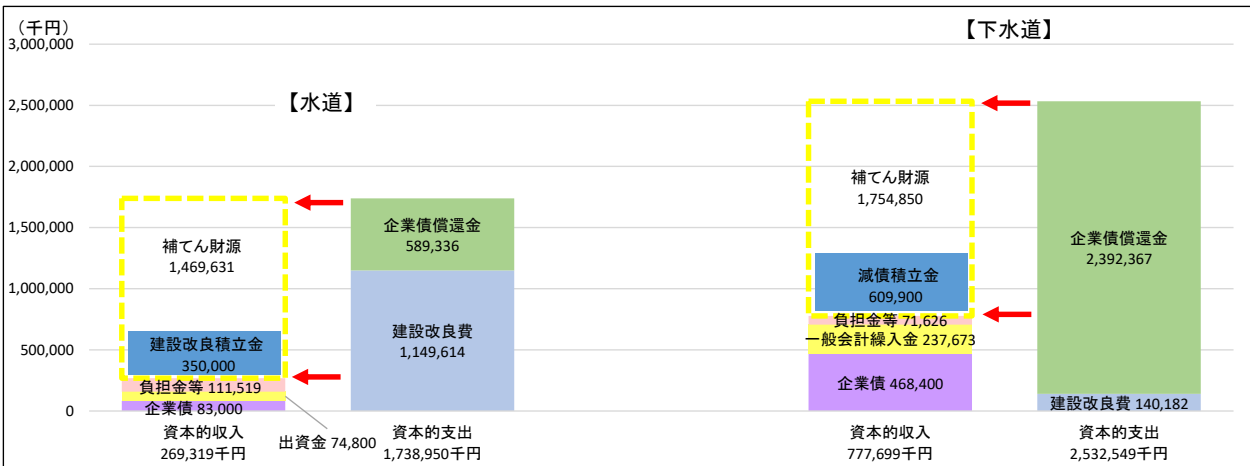
1 収益的収支(予定損益計算書)

水道事業では、給水収益で費用のほとんどを賄える見込みですが、下水道事業では、使用料収入だけでは費用全体の4割程度しか賄うことができない見込みです。下水道事業の経営には、一般会計から基準に基づく繰入金の収入が不可欠であることが分かります。



2 資本的収支

2事業とも施設の整備等に係る財源の不足が会計上の仕組みにより発生します。水道事業は、過年度及び当年度に発生した損益勘定留保資金(減価償却費等)や建設改良積立金などにより不足を補てんし、下水道事業は、過年度及び当年度に発生した損益勘定留保資金や減価積立金などにより不足を補てんします。



3 予定貸借対照表

財政状態を比較すると資産、負債ともに水道事業は下水道事業の4割程度で、事業規模の違いがよく分かります。2事業とも建設改良費の財源として企業債の借入れを行いながら、償還していく予定です。

